

中山間地等の集落散在地域における
地震防災対策に関する検討会

**平成16年新潟県中越地震に関する
住民アンケート調査
調査結果**

目 次

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査 調査結果	1
平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査（小千谷市・川口町編）	4
平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査（小千谷市・川口町 個人票）	26
平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査（小千谷市・川口町 世帯票）	51
平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査（山古志支庁 個人票）	64
平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査（山古志支庁 世帯票）	88

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査 調査結果

1. 調査地域

一般調査 小千谷市、川口町
山古志調査 山古志支庁（仮設住宅）

2. 調査対象者

一般調査 20 歳以上 75 歳未満男女個人 1000 人（小千谷市 800 人、川口町 200 人）
及び その世帯主もしくはそれに準ずる方
山古志調査 仮設住宅全世帯（世帯主もしくはそれに準ずる方）
及び その世帯の 18 歳以上 75 歳未満の世帯員

[仮設住宅の入居状況]

	入居世帯数 (世帯票対応)	入居人口 (個人票対応)
青葉台	116	360
新陽	156	478
陽光台	290	924
計	562	1,762

入居数は、平成 17 年 6 月 30 日現在

「入居人口」は対象年齢以外を含む全人口

3. 対象者選定方法

一般調査 住民基本台帳より二段無作為抽出
山古志調査 悉皆

4. 調査方法

訪問留置法

5. 調査期間

平成 17 年 7 月 16 日（土）～7 月 27 日（水）

6. 回収数

一般調査 個人票・世帯票 822 件（82.2%）
小千谷市 個人票 654 件（81.7%）、世帯票 645 件（80.6%）
川口町 個人票 167 件（83.5%）、世帯票 177 件（88.5%）
山古志調査 世帯票 504 件（89.7%）、個人票 968 件

一般調査
地点別の回収数・率

小千谷市

	地点名	個人票		世帯票	
		票数	回収率	票数	回収率
101	上ノ山3丁目	16	80	17	85
102	土川1丁目	15	75	16	80
103	土川2丁目	17	85	18	90
104	本町2丁目	17	85	18	90
105	稲荷町	14	70	14	70
106	船岡3丁目	13	65	14	70
107	元町	18	90	18	90
108	東栄1丁目	17	85	18	90
109	東栄3丁目	16	80	16	80
110	大字穉生穉生	18	90	19	95
111	大字穉生元中子	20	100	20	100
112	大字穉生山寺	16	80	17	85
113	大字穉生木津	18	90	18	90
114	大字穉生木津団地	20	100	20	100
115	大字浦柄	18	90	18	90
116	大字池中新田	14	70	14	70
117	大字上片貝	15	75	15	75
118	大字西吉谷二俣	15	75	15	75
119	千谷川2丁目	13	65	14	70
120	城内1丁目	17	85	18	90
121	城内2丁目	12	60	12	60
122	城内4丁目	15	75	16	80
123	大字桜町	16	80	16	80
124	大字桜町	17	85	17	85
125	若葉2丁目	12	60	12	60
126	平沢2丁目	17	85	17	85
127	大字三仏生	17	85	17	85
128	大字千谷	15	75	15	75
129	大字小粟田	18	90	19	95
130	大字川井内ケ巻	19	95	18	90
131	大字南荷頃荷頃	16	80	16	80
132	大字岩沢第一区	19	95	19	95
133	真人町上沢	19	100	20	100
134	真人町中山	19	95	19	95
135	片貝町一之町2区	19	95	13	65
136	片貝町一之町5区	13	65	4	20
137	片貝町稲場	20	100	17	85
138	片貝町高見	14	70	12	60
139	高梨町高梨	15	75	14	70
140	高梨町五辺	15	75	15	75
計		654	81.8	645	80.6

川口町

	地点名	個人票		世帯票	
		票数	回収率	票数	回収率
201	大字中山	16	80	16	80
202	大字川口	15	75	16	80
203	大字川口	16	80	19	95
204	大字川口	15	75	17	85
205	大字西川口	17	85	17	85
206	大字西川口	19	95	19	95
207	大字牛ケ島	17	85	17	85
208	大字相川	18	90	18	90
209	大字田麦山	18	90	19	95
210	大字木沢	16	80	19	95
計		167	83.5	177	88.5

山古志調査

仮設住宅別の回収数・率（参考値）

仮設住宅	対象		世帯票		個人票	
	入居世帯	入居人口	票数	回収率	票数	回収率
青葉二丁目	116	360	103	88.8	213	59.2
新陽一丁目	156	478	150	96.2	256	53.6
陽光台四丁目	290	924	251	86.6	499	54.0
計	562	1,762	504	89.7	968	54.9

「入居人口」は、対象年齢以外も含めた人口です。個人票回収率は、あくまでも参考値です。
（全住居人口に対する回収率となっております）

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査 (小千谷市・川口町編)

調査概要

1. 調査地域 小千谷市、川口町
2. 調査対象者
 - 個人調査 20 歳以上 75 歳未満男女個人 1000 人 (小千谷市 800、川口町 200)
 - 世帯調査 上記個人の世帯主もしくはそれに準ずる方
3. 対象者選定方法 一般調査 住民基本台帳より二段無作為抽出
4. 調査方法 訪問留置法
5. 調査期間 平成 17 年 7 月 16 日 (土) ~ 7 月 27 日 (水)
6. 回収数 一般調査 個人票・世帯票 822 件 (82.2%)
 - 小千谷市 個人票 655 件 (81.9%)、世帯票 645 件 (80.6%)
 - 川口町 個人票 167 件 (83.5%)、世帯票 177 件 (88.5%)

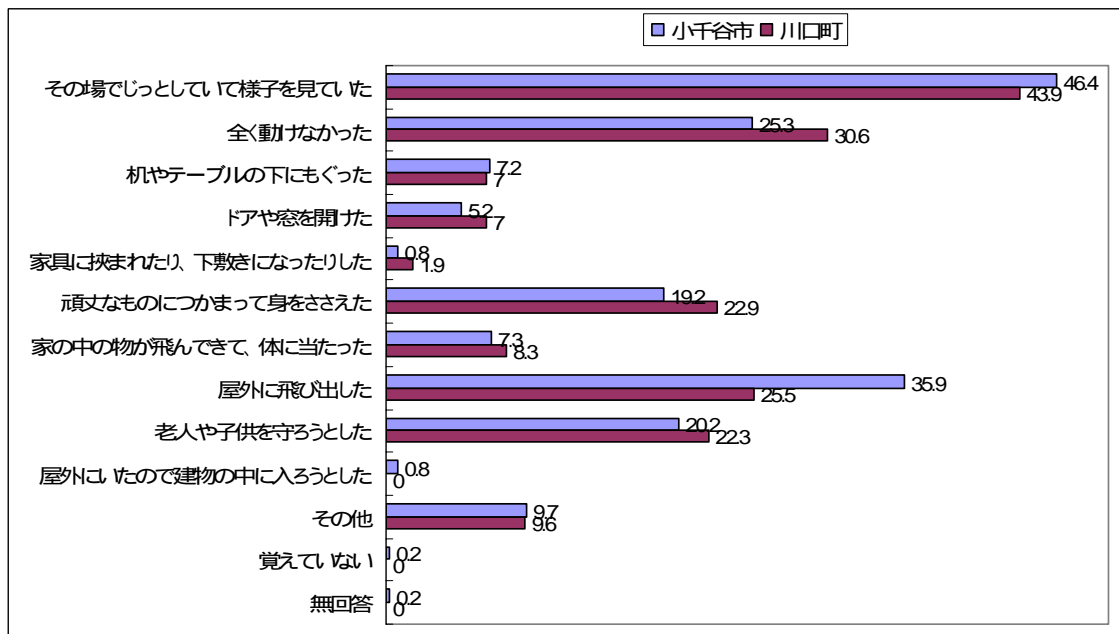
. 個人調査の結果

1. 地震時の行動

強震時は何もできない

突然、震度 7 や震度 6 強といい激しい揺れに見舞われた人々はどう行動したのか。震度 7 の川口町ではその場でじっと様子を見ていた人が最も多く、ついで全く動けなかったが多かった。強い振動で何もできなかった様子が分かる。一方、震度が若干小さかった小千谷では、二番目に「屋外に飛び出した」がきている。川口のように揺れが激しい場合は、外にもなかなか飛び出せないのである。

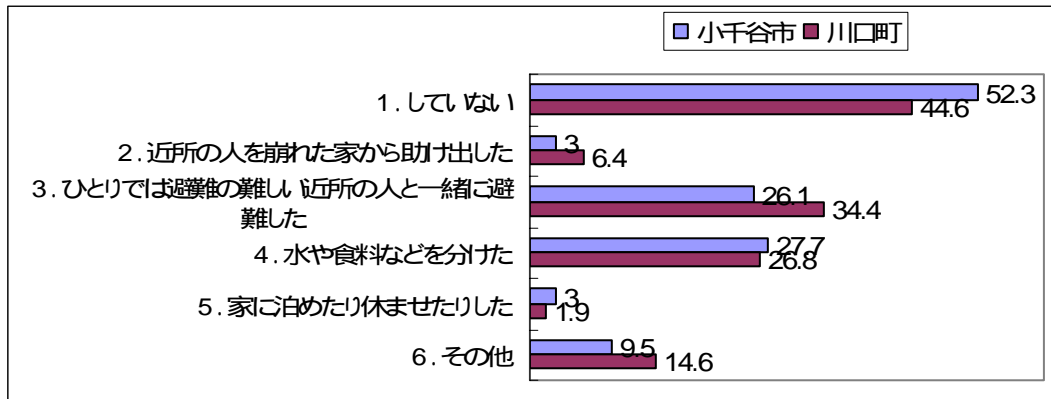
揺れている最中の行動



近隣の援助行動がなされた

中山間地域で起きた災害の特徴として、近隣の援助活動が見られる。特に川口では住民の 1 / 3 が近所の要援護者と一緒に避難しているし、1 / 4 の人が水や食料を分け与えている。

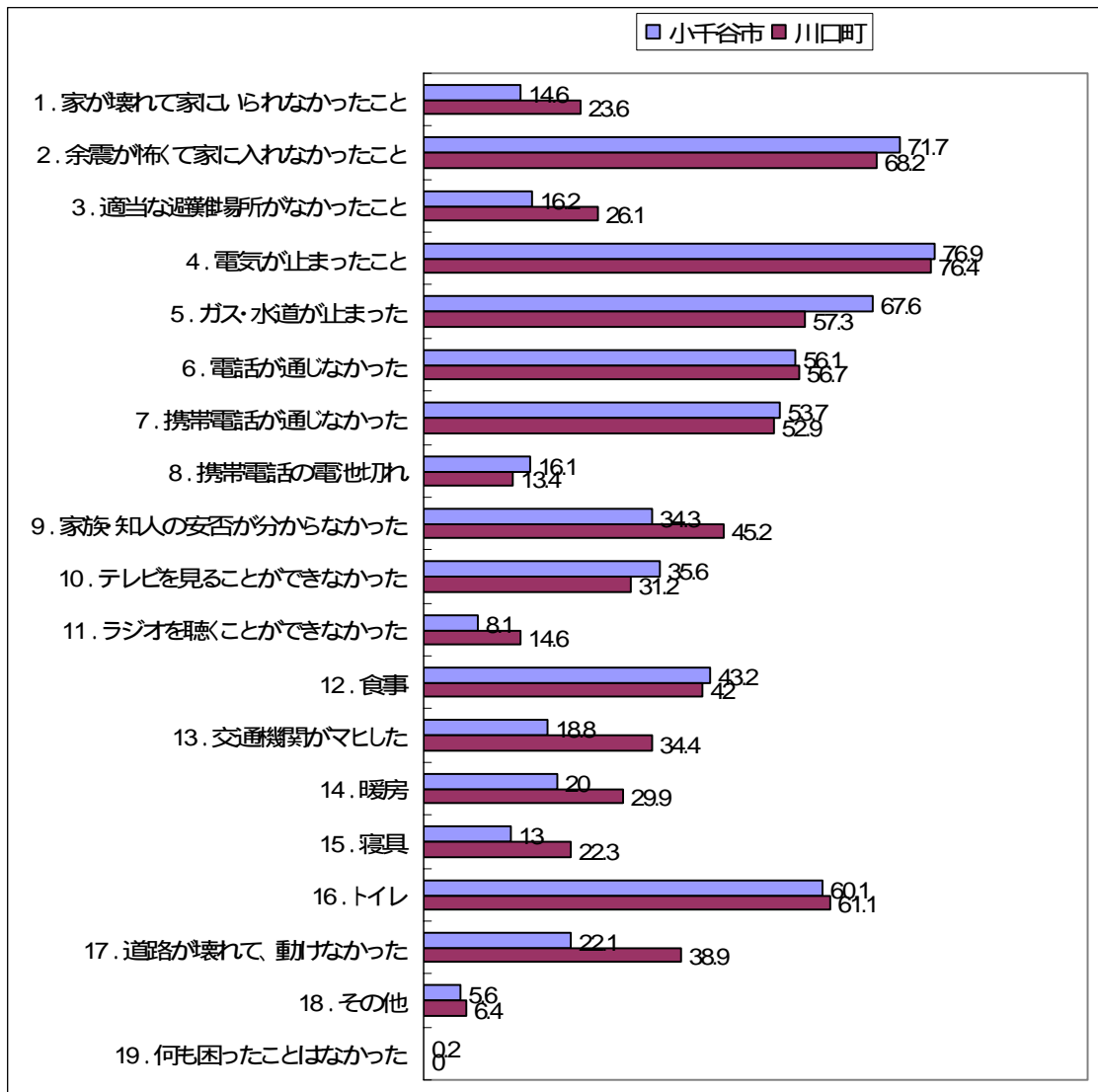
近隣の援助行動



2. 避難生活

当日困ったのは余震とライフライン

地震当日困ったこと

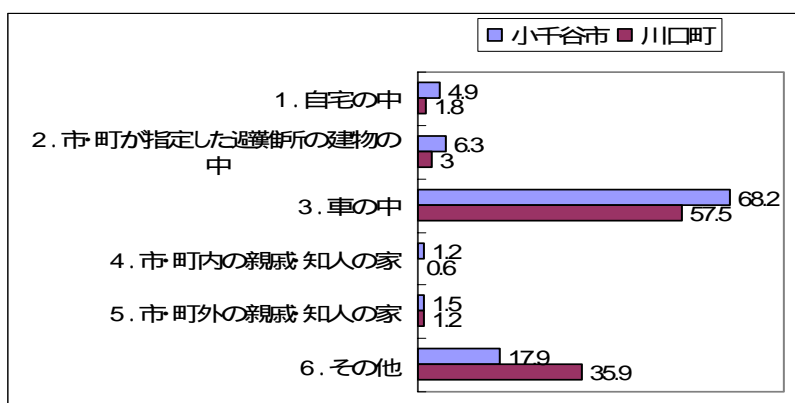


当日困ったことをたずねると、停電が最も多く、並んで余震が怖くて家に入れなかった事がある。地震当日は、短時間に震度6の大きな余震が連続して発生した。役場では避難勧告を出したが、それと同時に余震の恐怖から、損傷を受けた自宅には戻れなかったのである。一方ライフラインは電気、ガス、水道、電話、携帯電話などが使用不能になり、不便を感じた人が多くなっている。ライフラインの1つである水道の停止は、さらにトイレを使用不能とし、これに困った住民も多かった。

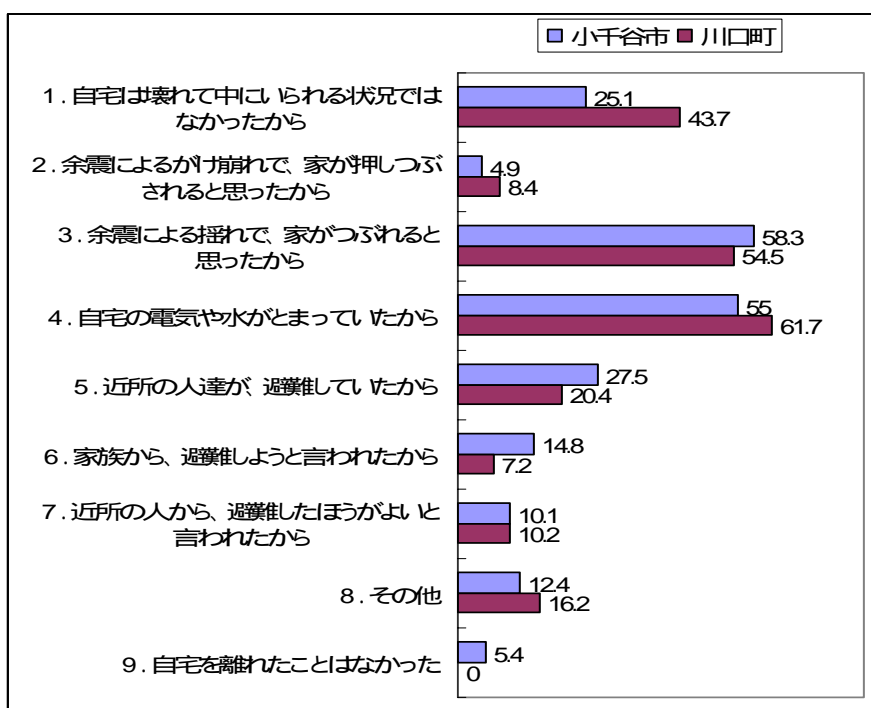
地震当夜は余震を恐れて車へ避難

地震当夜どこで過ごしたかをたずねたところ、自宅の中という人はわずか数%にすぎず、6割程度の人が車の中と答えている。ついで「その他」が多いが、屋外、ビニールハウス、納屋、車庫、などで過ごした人が多いと思われる。当夜は、揺れで自宅がつぶれるのではないかと、思って避難した人が多かったのである。

地震当夜過ごした場所



避難した理由

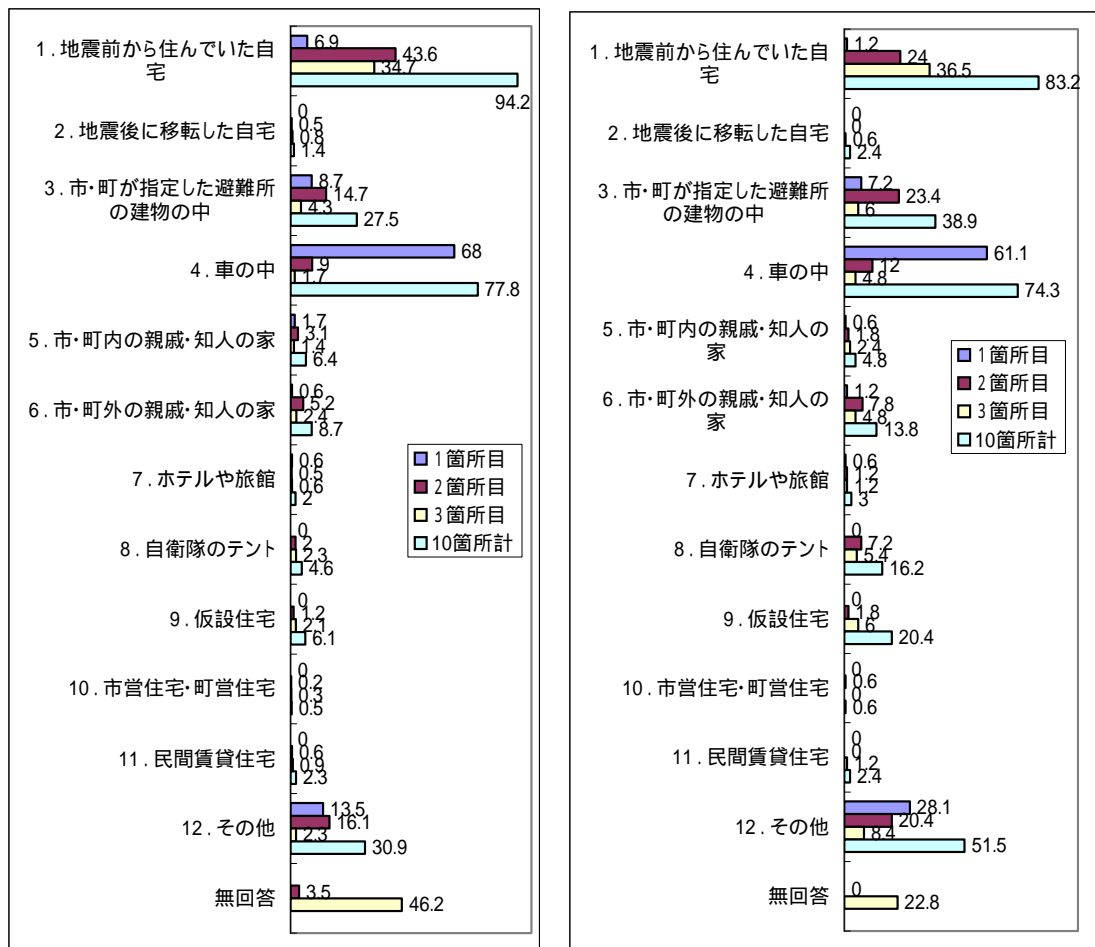


避難した人に理由を聞いたところ、やはり余震とライフラインの停止をあげる人が多かった。

避難は車（避難所・その他） 自宅と移動

調査では、地震後どこで生活していたかを、10箇所目までたずねた。その結果、最初は車に避難した人が多く、（小千谷で68%川口で61.1%）2箇所目では「自宅」「避難所」「その他」が多い。車に避難していた人は、余震の恐怖が去って、自宅に住める人は自宅にもどり、自宅が住めない人は公的避難場所や「その他」に避難したのである。「その他」とはビニールハウス、寺、納屋、車庫などであると考えられる。そして3箇所目は自宅が最も多くなる。

避難場所の変遷(左 - 小千谷、右 - 川口町)



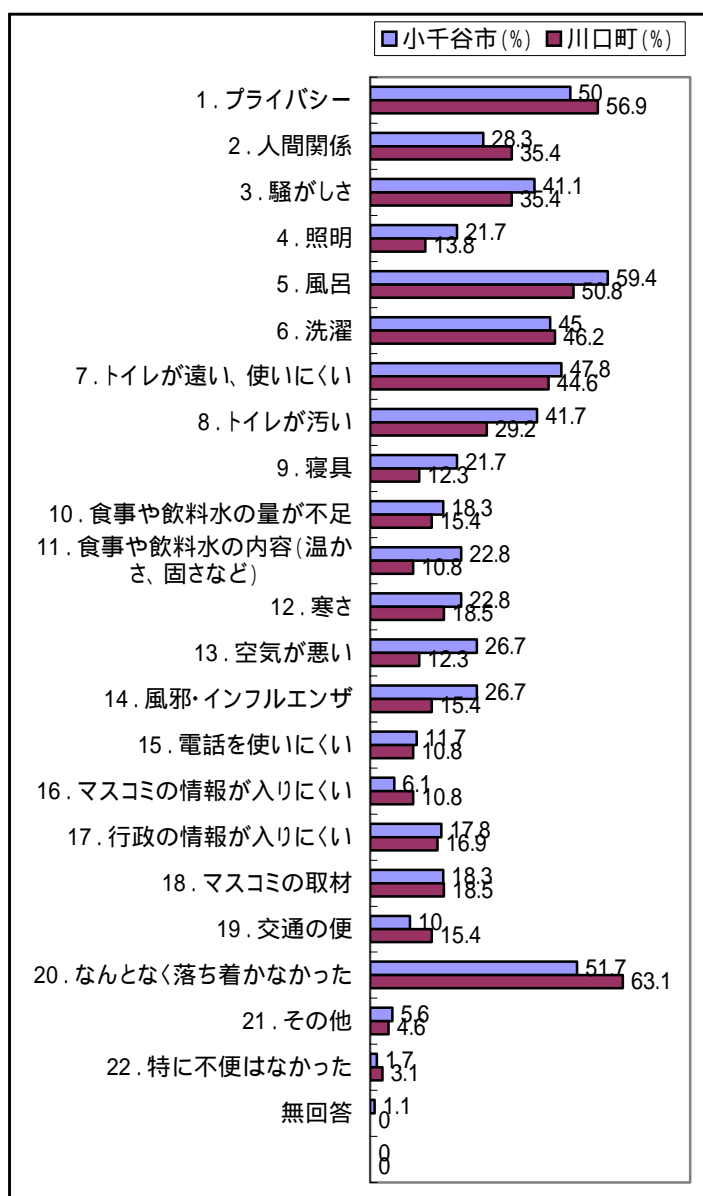
10箇所を合計すると、どこに避難した経験があるかがわかるが、自宅をのぞくと、車が最も多くなっている（小千谷77.8%、川口74.3%）。ついで多いのが「その他」で、小千谷で30.9%、川口で51.5%が経験している。ビニールハウス、寺といった私的な避難場所や、自宅の納屋、車庫に避難した人が多かった。新潟日報（2005年04月09日）によると、小千谷市では池ヶ原地区や坪野地区でビニールハウスが避難所として使われている。また長岡市では145カ所の指定避難所のうち15カ所が損壊で使用できなかったので、ビニールハウスや寺など52カ所が自主避難所となったという。避難場所として3番目に多いのが公的避難場所である。小千谷で27.5%、38.9%と揺れが激しかった川口町でより高

くなっているが、それでも被災者した住民全員が公的避難場所に避難したわけではないことがわかる。また被害の大きかった川口では16.2%が自衛隊のテントへの避難を経験している。自衛隊のテントは2番目、3番目の避難所として選ばれている。

過密と水回りが避難所の不満

公的避難場所に避難した人に、避難所生活の不満をたずねたところ、「なんとなく落ち着かない」や「プライバシー」の問題が大きかった。これは体育館などの広い空間に多くの人が収容されるために起こる不満である。同様に多いのは「風呂」「洗濯」「トイレ」といった断水に伴う水まわりの不満であった。

避難所の不満



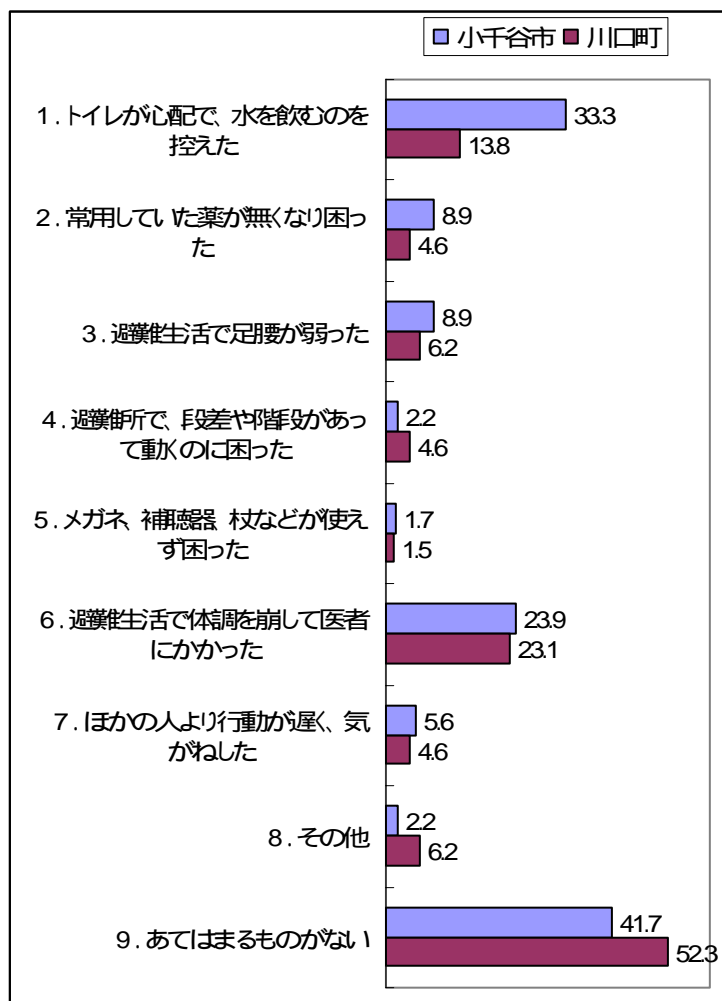
健康被害の発生

このような不自由な避難所生活は、深刻な影響をもたらす。トイレが不安で水を飲むこ

とをひかえたとする人は小千谷市で 33.3%、川口町で 13.8%もいた。特に人口が多く都市化がより進行している小千谷でトイレの問題が深刻になっている。水をとるのを制限すると、脱水状態となり、深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)を含む、血栓症が起こりやすくなり、二次被害の原因となりかねない。

そして実際に、避難生活で体調を崩す人も出てくる。小千谷で 23.9%、川口では 23.1%が体調を崩し医者にかかる事態に陥っている。これは「落ちつかなさ」にともなうストレスや不眠、集団生活による感染症などが原因と思われる。

避難所での体験



3. 車避難の問題

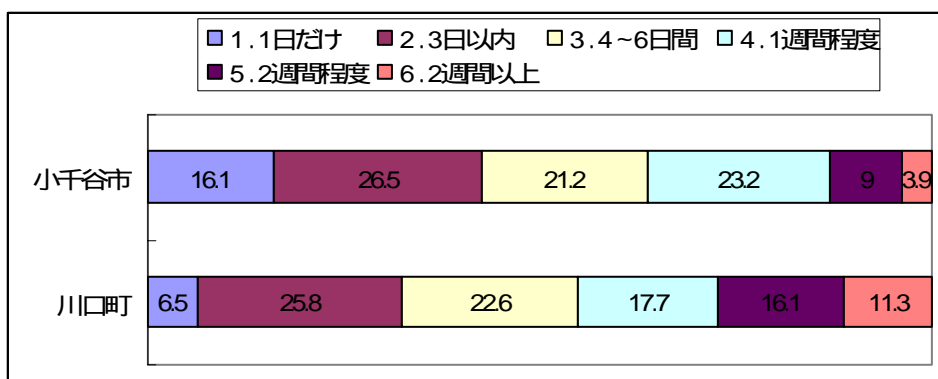
余震警戒で1週間以内の避難

今回、車中避難中に、エコノミークラス症候群を起こした人がいて、問題となった。車中避難をした人に、どのくらいの期間避難していたかをたずねたところ、3日から1週間程度の人が多かった。ただし被害の大きかった川口では2週間以上の方が1/4程度いた。

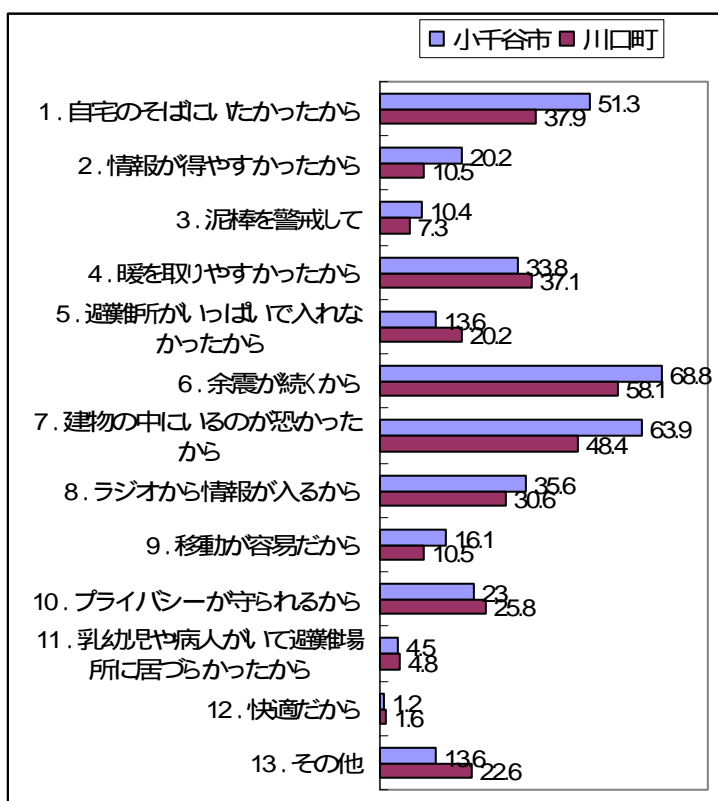
車に避難した理由を聞くと「余震が続くから」「建物の中にいるのが怖かったから」と余震を警戒した人が最も多かった。しかし同時に「自宅のそばにいたかった」という人も多く、特に小千谷では50%以上いた。余震を警戒して車中避難していた人は、余震の恐れが少なくなるにつれて、1週間程度で、自宅や屋根のある避難場所に移動したのである。

一方「暖をとりやすかったから」「ラジオ情報が入るから」「プライバシーが守られるから」と、避難場所よりも車中のほうが生活の質が高いことを挙げている人も少なくなかった。とはいえ、「快適だから」という人はほとんどいない。「余震が怖くてやむなく車中避難した。しかし、体は伸ばせないトイレも不便なので、1週間以上は厳しい。」という人が多かったのではないだろうか。

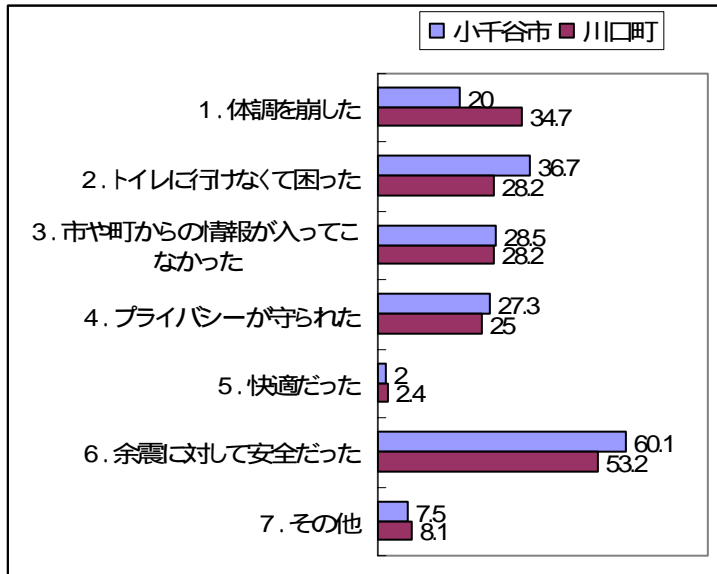
車避難の期間



車避難の理由



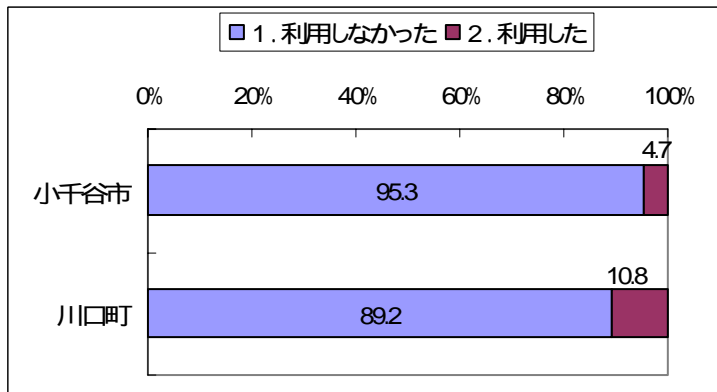
車避難時の体験



4. 旅館等への避難

低い利用率

地震後、避難先として旅館等への無料斡旋が行われた。しかしこれを利用したのは小千谷で 4.7%、川口で 10.8%であった。

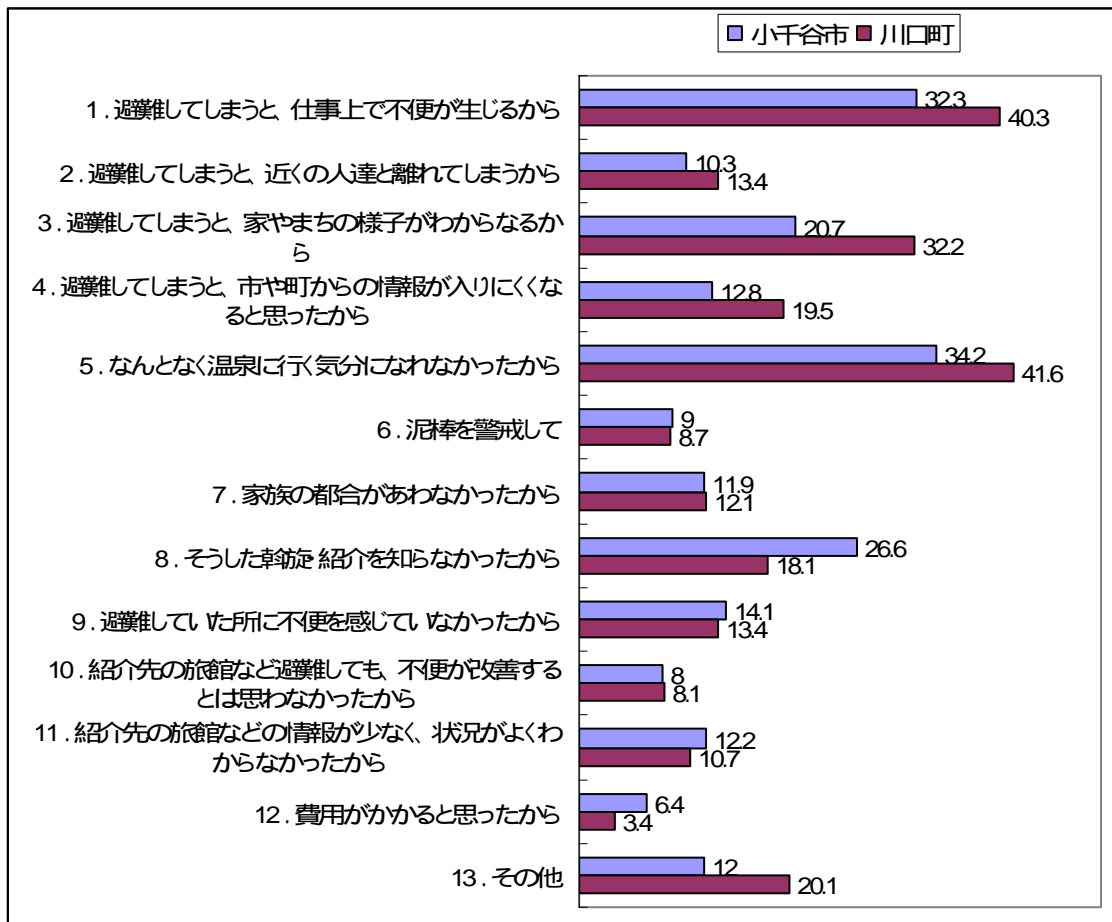


行かない理由は「行く気分にならない」と「仕事の都合」

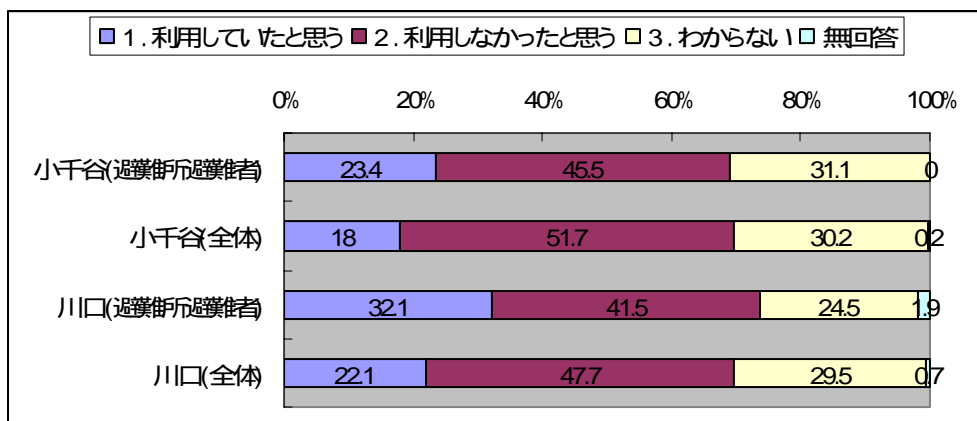
利用しなかった人にその理由を尋ねたところ、「なんとなく温泉に行く気分になれない」と「仕事上で不便が生じるから」が4割前後と多かった。また「家やまちの様子が分からなくなるから」という人も小千谷で2割、川口で3割程度いた。また「そうした斡旋を知らなかったから」という人も小千谷で26.6%いた。

つぎに、地域の人が皆一緒に利用することができたら旅館に避難したか、とたずねたところ、小千谷で、18.0%川口で22.1%の人が「利用していたと思う」と答えている。回答者には自宅の被害が少ない人も多く含まれているので、真に避難が必要だった、公的避難場所に避難経験を持つ人だけで回答を見ると、小千谷で23.4%、川口で32.1%が「利用していたと思う」と答えている。条件さえ整えば、多少離れた旅館でも、避難したいという

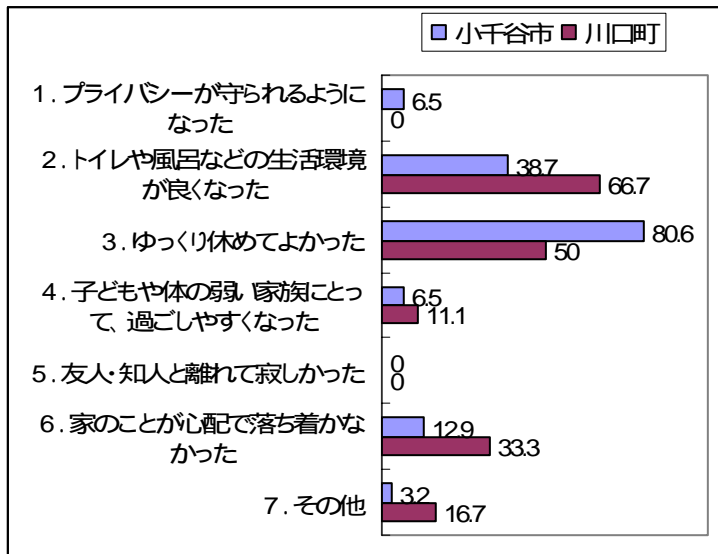
人が相当数いることがわかった。



皆で行くなら3割の人が「行った」



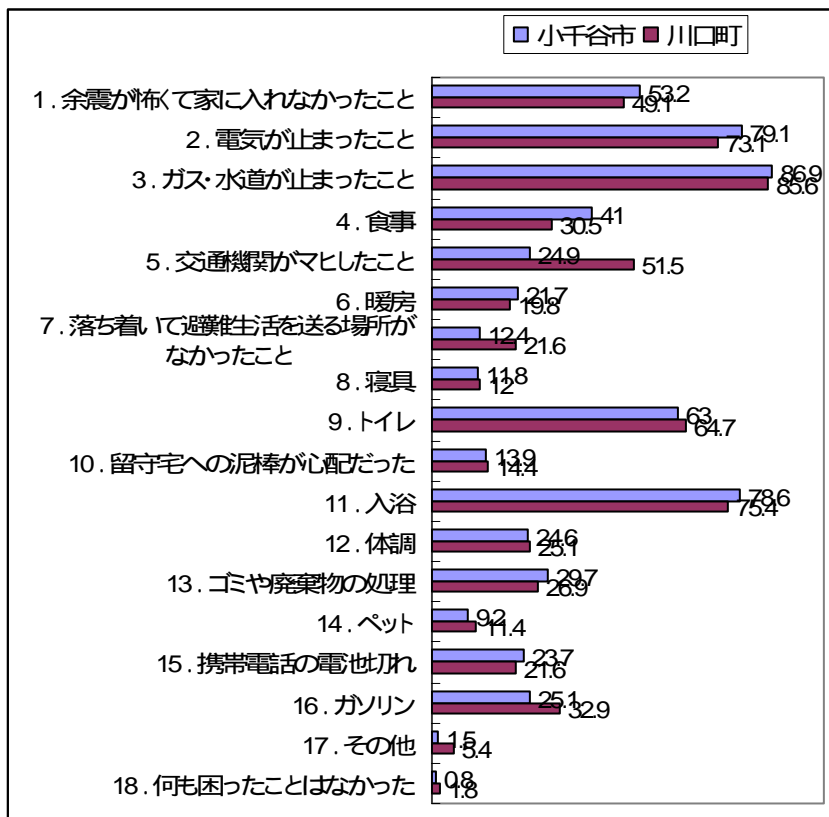
実際に避難した人にその感想を聞いたところ、「ゆっくり休めてよかった」という人が小千谷で80.6%、川口で50.0%おり、被災の疲れを癒すことができたようである。



5. 避難の長期化

水と電気の欠如が問題に

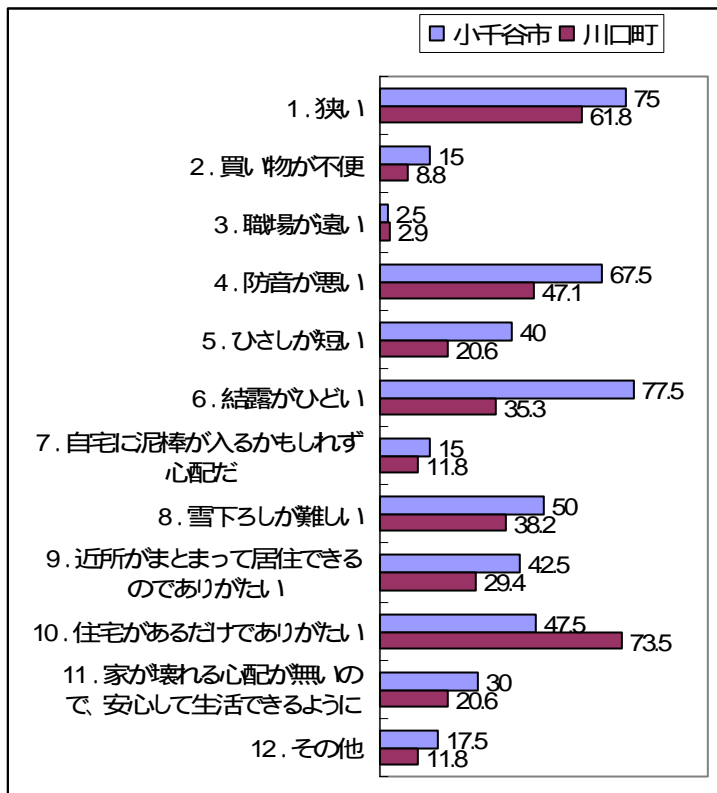
次に、避難の長期化で、自宅や仮設住宅などに落ち着くまで、どのようなことに困ったかをたずねた。電気・ガス・水道といったライフラインの停止と、川口では交通機関のストップの影響が大きかったことがわかる。



次に仮設住宅における問題を尋ねた。すると「狭い」「防音が悪い」「結露がひどい」などの不満があった。その一方で川口では「住宅があるだけでありがたい」と感じる人が多

くなっている。川口では、全町的に家屋の被害が著しかったので、そのように感じられたのかもしれない。

仮設住宅で感じたこと



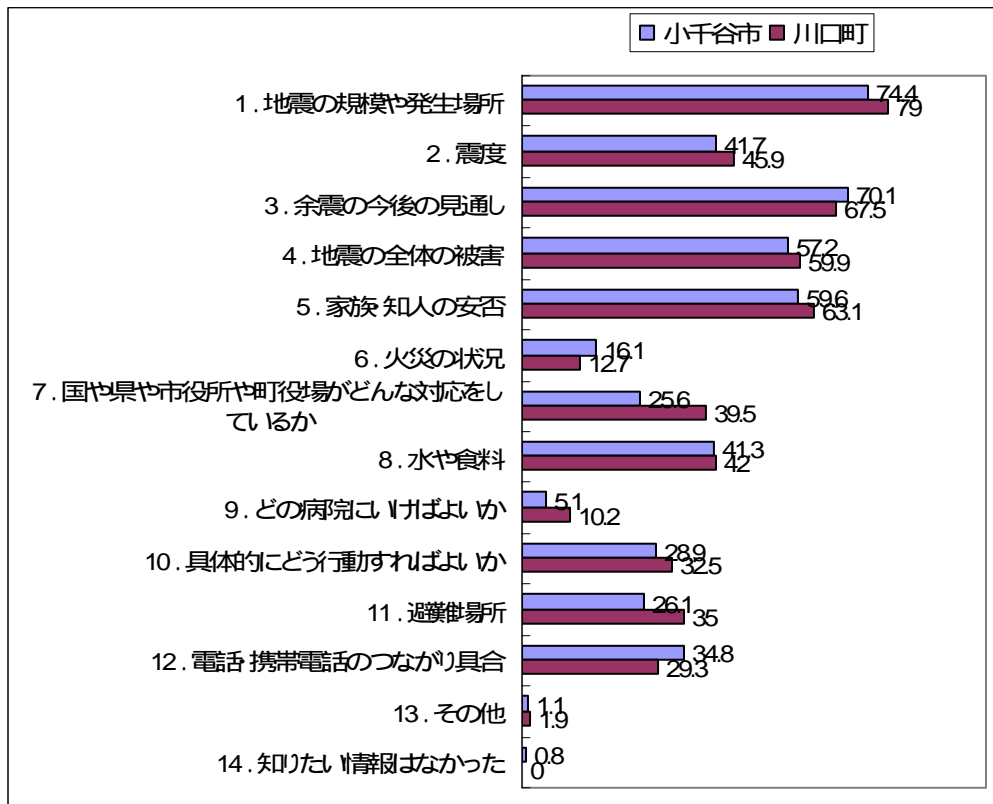
6. 情報

余震、被害、安否が知りたい情報 - ラジオの活躍

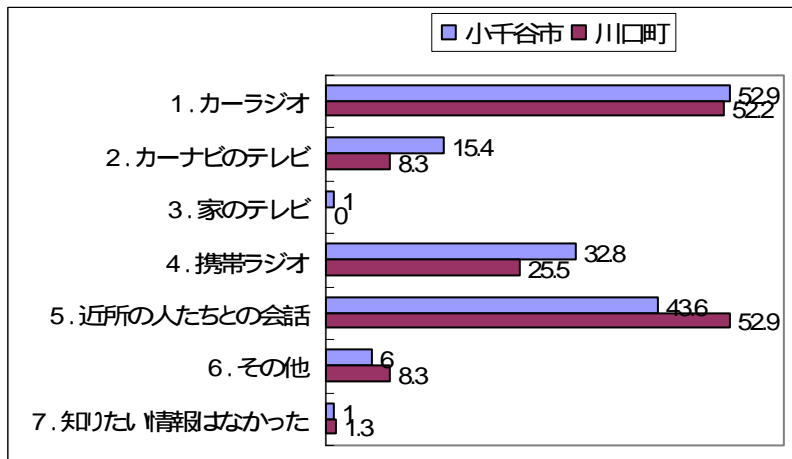
当日知りたかった情報をたずねると、「地震の規模や発生場所」「余震の見通し」「全体の被害」といった、余震や被害の全体像への欲求、そして「家族知人の安否」が多かった。

そしてそれらの情報源となったのは、ラジオ(カーラジオ・携帯ラジオ)と近所の人たちの話であった。また、最近普及の目立つ、カーナビのテレビからも、1割前後の人が情報を得ていた。

地震当日知りたかった情報

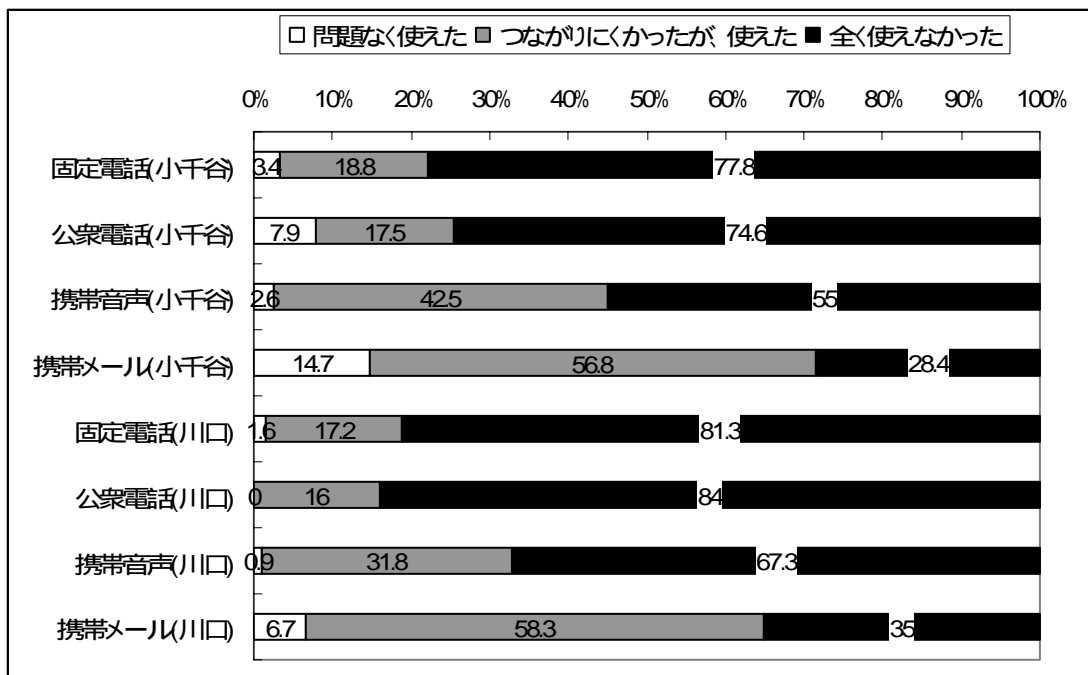


当日知りたかった情報の情報源



携帯メールがつながりやすかった

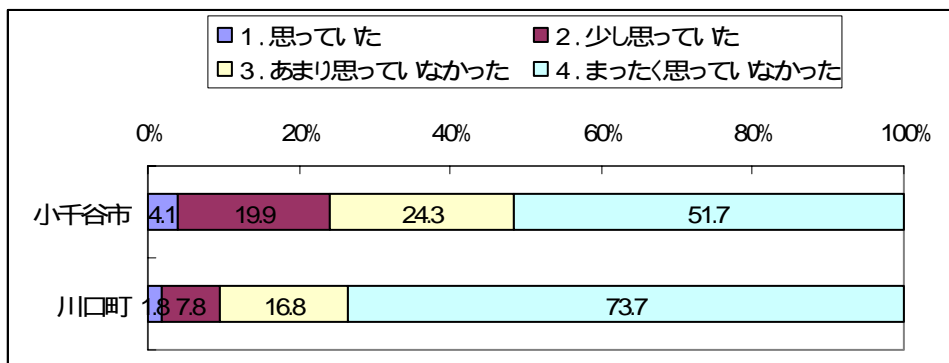
当日の通信メディアのつながり具合を聞くと、小千谷・川口ともに、固定電話や携帯電話音声の輻輳が激しく、ほとんどつながらなかったことがわかる。その一方で携帯メールは、他のメディアと比べ、かなりつながりやすかったことがわかる。



予期しなかった地震

自分が住んでいる地域に、このように大きな地震が起きると思っていたか、をたずねると、川口では7割、小千谷でも5割の人が「全く思っていなかった」と答えた。このように、地震への警戒心が全くない場所で、今回の地震は起きたのである。

大地震が起きると思っていたか

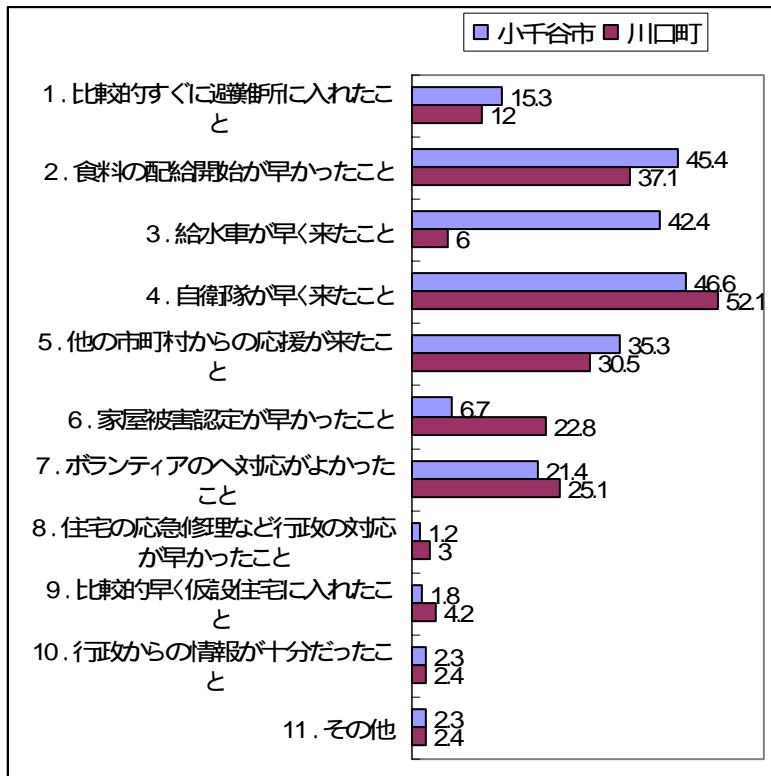


7. 行政評価

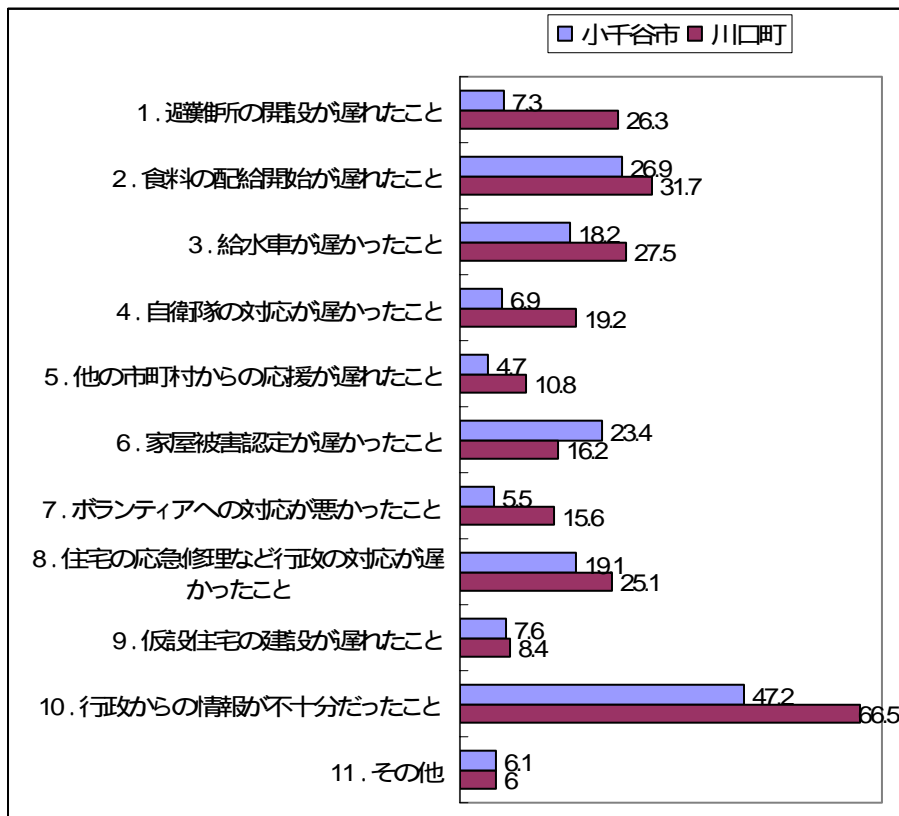
食料・外からの救援に高い評価 行政情報伝達に低い評価

行政対応への評価を聞いたところ、食料の配布が早かったこと、自衛隊が早く来たこと、他市町からの応援が早く来たこと、等には高い評価がされた。また小千谷では、給水車が早く来た、との評価もあった。一方、悪かった点としては、「行政からの情報が不十分だった」と多くの人が判断している。災害当初は行政のやるべき事はたくさんあり、情報伝達は後回しにされがちである。しかし現状で把握している範囲でよいから、こまめに住民に情報を伝達することも必要である。ただ残念ながら、今回被災した両地域とも、それを伝える同報無線等のメディアが整備されていなかった。今後は有効な伝達手段の確保と、積極的に情報を提供する姿勢が必要と思われる。

行政対応のよかった点



行政対応の悪かった点



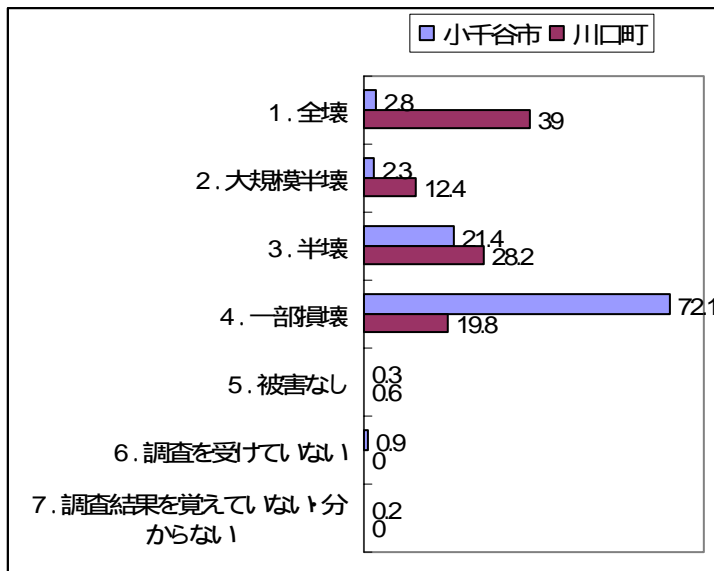
・世帯調査の結果

1. 被害状況

著しい川口の家屋被害

次に世帯調査の分析にうつる。まず家屋の被害を見ると、小千谷では全壊世帯が 2.8% だが、川口では 39.0% である。これは町の統計とほぼ同じレベルであるが、震度 7 の揺れのインパクトが大きかったことがよくわかる。

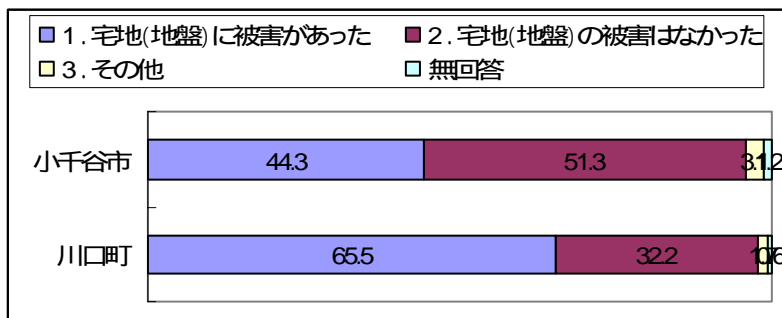
住宅被害



深刻な地盤被害

家屋被害に比して見逃されがちであるが、地盤の被害も重大な影響をもたらす。たとえ家屋に被害がなくても、地盤に被害があると、結局、建て替えなくてはならないこともあるからである。地盤への被害率を見ると、小千谷で 44.3%、川口で 65.5% の高率に達していた。ここから、建築物被害への対策ばかりでなく、地盤も含めた総合的な住宅被害への対策が必要であることがうかがえる。

地盤被害の有無

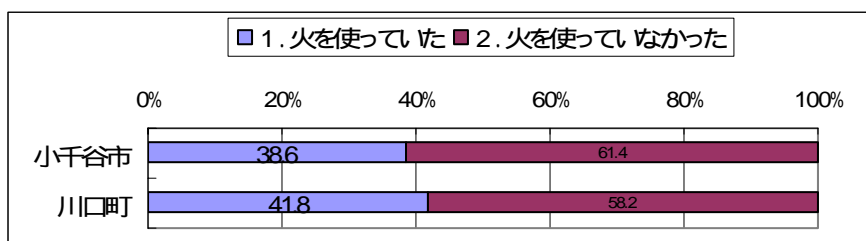


火の使用率は高かったが、出火は少ない

地震時の出火率については、建物の倒壊率と深い関係にあり、それに時刻、季節などの要因が付加的に関係していることが、経験的に知られている。中越地震では 9 件の出火があったが、消防研究所の資料(平成 16 年新潟中越地震関連情報 No.4)によると、その出火率は経験的に想定された範囲内であったという。

今回の調査では、地震時に火を使っていたかをたずねたが、小千谷で 38.6%、川口で 41.8%と、高い割合で火を使っていたことがわかった。これは、地震の発生が5時56分と、ちょうど夕食準備の時間帯であったためである。しかし、出火した9件を細かくみると、だるまストーブの転倒、電気配線、高温熔融金属、線香、ガスボイラー等による出火で、炊事中の火によるものは1件もなかった。

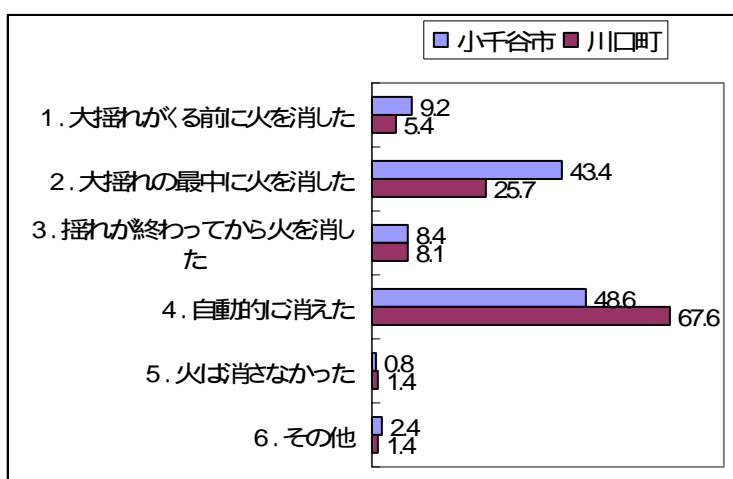
地震時火を使っていたか



火は自動的に消えた

地震で火の始末をしたかをたずねたところ、最も多いのは「自動的に消えた」であった。最近では、マイコンメーターなどのガス遮断装置や、揺れを感知して停止する暖房機が多くなっているからであろう。揺れの最中に火を消した人は、小千谷では 43.4%に達しているが、川口では 25.7%である。川口では揺れが激しすぎて消すことができなかったのであろう。そのかわりに川口では「自動的に消えた」とする人が 67.6%と、小千谷より 20%も多くなっている。あわてて消さなくても火は自動的に消えたのである。この結果から考えると、あえて危険を冒して、揺れの最中に火を消すことはない、といえるのかもしれない。

火の始末をしたか



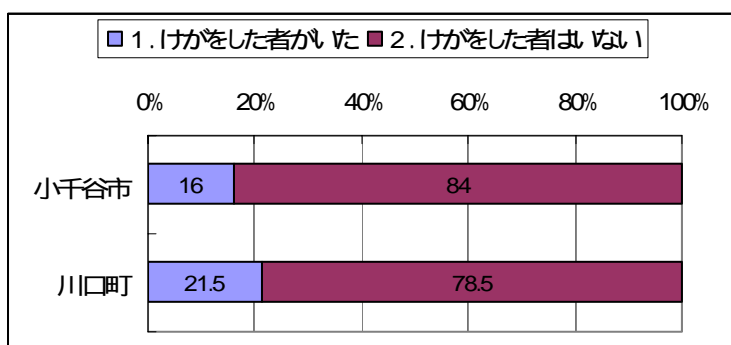
けがの原因は「ガラス」「あわてて逃げようとした」

次にけがなどの人的被害についてたずねた。家族にけが人が出た世帯は小千谷で 16.0%、川口で 21.5%に達している。さらにけがの原因を聞くと、最も多いのは「壊れたガラスや食器」によるものであった。ついで多いのは「逃げようとして物にぶつかったり転んだりした」ことによるけがである。阪神大震災では倒壊の下敷きになる人が多かったので、「地

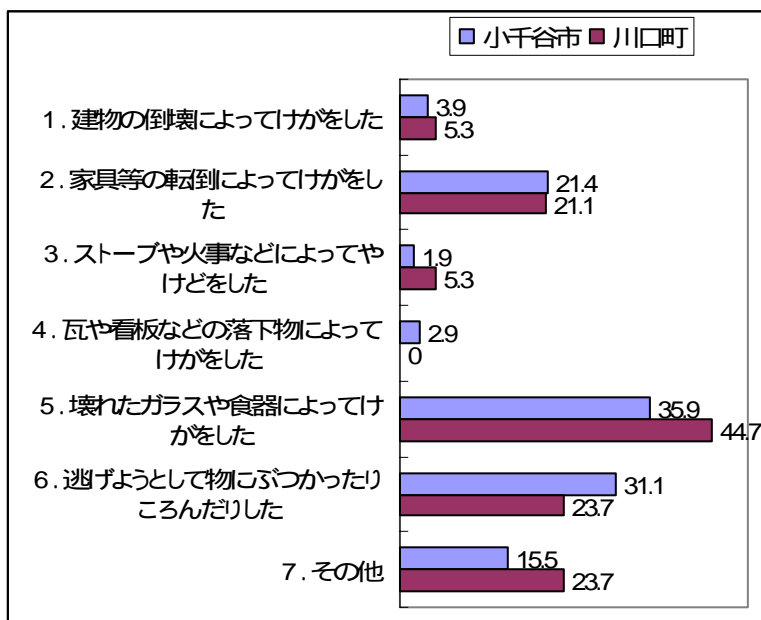
震 倒壊をおそれて逃げ出す」という行動が多くなっているようだが、そうした行動は、かえって、けが人を作り出しているのである。注目すべきは、こうした原因によるけがが、揺れの少ない小千谷で多くなっていることである。震度7の川口では、揺れが激しすぎて、飛び出すことができなかつたからである。

倒壊の危険が高い震度7の地域では、飛び出そうとしても飛び出すことができない。一方、揺れが少ないところでは、とっさに飛び出すことができるが、そうしたところでは家屋倒壊は少なく、飛び出しがけがにつながってしまう。そういえば、今回、地震直後に飛び出した人が、落下した壁の下敷きになって死亡したケースもあった。こう考えると、「揺れたら外に飛び出す」という心がけは、問題が大きいのではないだろうか。

家族にけがに人が出たか



けがの原因

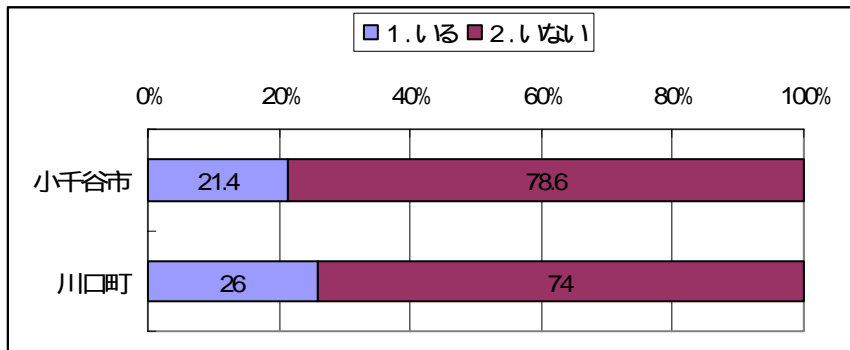


2. 災害時要援護者について

自宅介護から施設へ

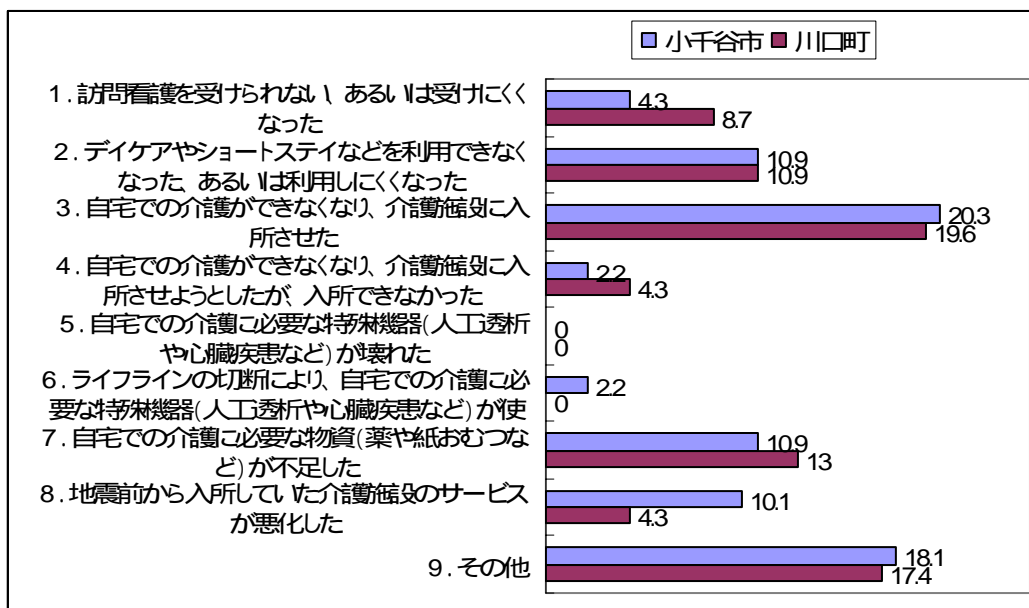
高齢化に伴い、災害時の要介護者の問題が重要になっている。本調査では、小千谷では21.4%、川口では26.0%の世帯に、災害時要介護者がいた。

家族に要介護者はいたか



要介護者がいる家庭に、地震後起こった問題をたずねたところ、最も多いのは、「自宅での介護ができなくなり、介護施設に入所させた」というものである(小千谷で20.3%、川口で19.6%)。数字的には少ない印象があるが、要介護者には、「要支援」から「要介護2」といった比較的レベルの軽い人が、数的に多いことを考えると、「要介護3」以上の人の多くが、こうした状況であったと考えられる。ライフラインの停止や、介護家族の避難などで、自宅介護が難しくなるため、老人保健施設、病院、特別養護老人ホーム等への緊急の入所が必要となる。こうした施設の確保、要介護者の居場所の確認、移送の計画等をあらかじめ整えておく事が重要であろう。

要介護者の問題



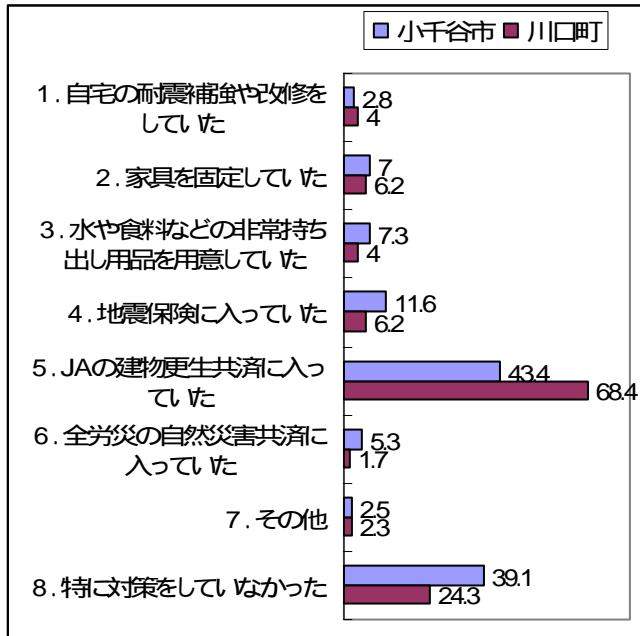
3. 地震対策

意識は低い、建更への加入率が高い

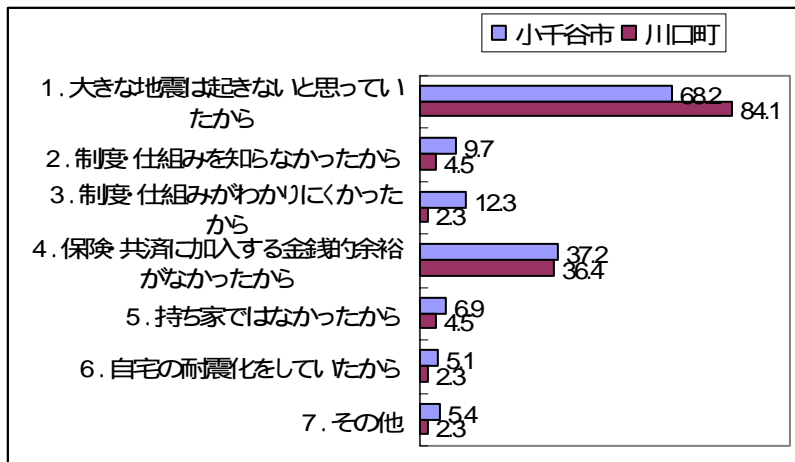
個人票編ですで見たとおり、この地域では大地震に対する住民の警戒心が少なかった。そのため、一般的に、地震対策はあまり行われていない。家具の固定や非常持ち出し品の準備などを行っている世帯は、4%から7%と低い。しかし特質すべきはJAの建物更正共済に入っていた世帯が、川口で68.4%、小千谷で43.4%と、高率であったことである。その直接の原因は、この地域が農業地域であることだが、建物更正共済は、普通の火災保険

と異なり、地震による損害も補償する(例えば「建更むてき10型」だと全壊時1000万円+据え置き割戻金)。地震保険の加入は火災保険のオプションとなっていることから、加入率が伸び悩んでいる。しかし「建更」のようにセットになっていると、地震への意識が低くても加入する、というメリットがあるようである。

地震への備え



地震保険等に入らなかった理由

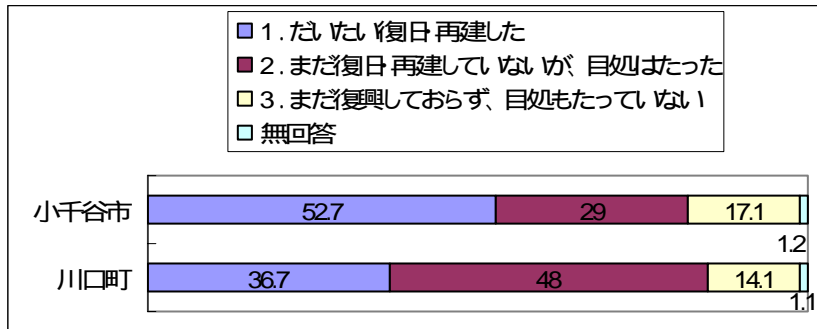


4. 復興

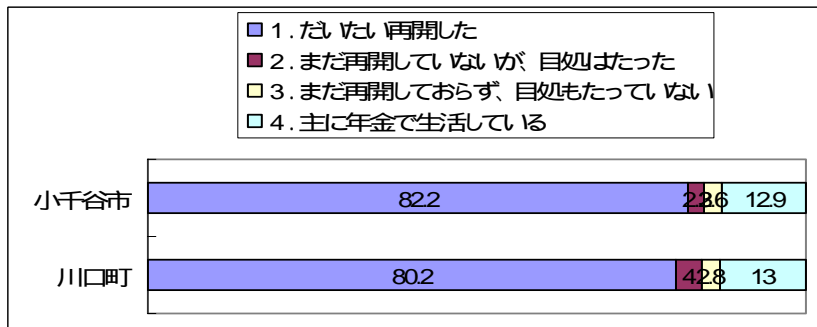
住宅再建は現在進行中

復興の現状をたずねたところ、仕事や生活のリズムでは多くの人が落ち着きを取り戻しているが、住宅の復旧再建についてはまだ半分近くの人しか完了していない。

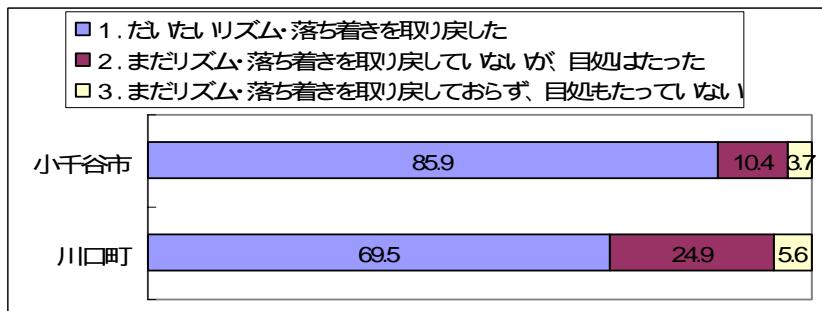
復興の現状 (住宅)



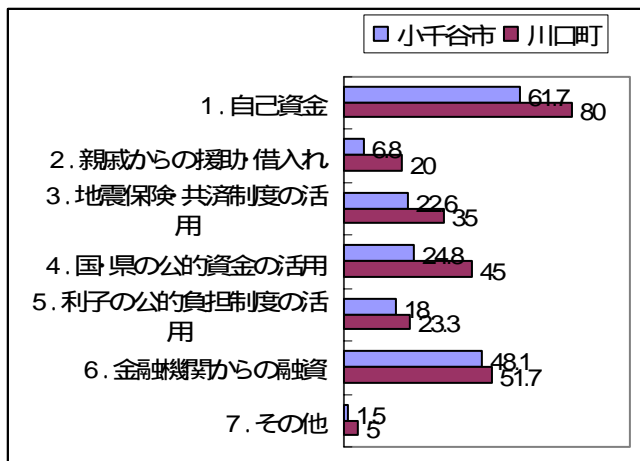
(仕事)



(生活リズム)



住宅再建の資金

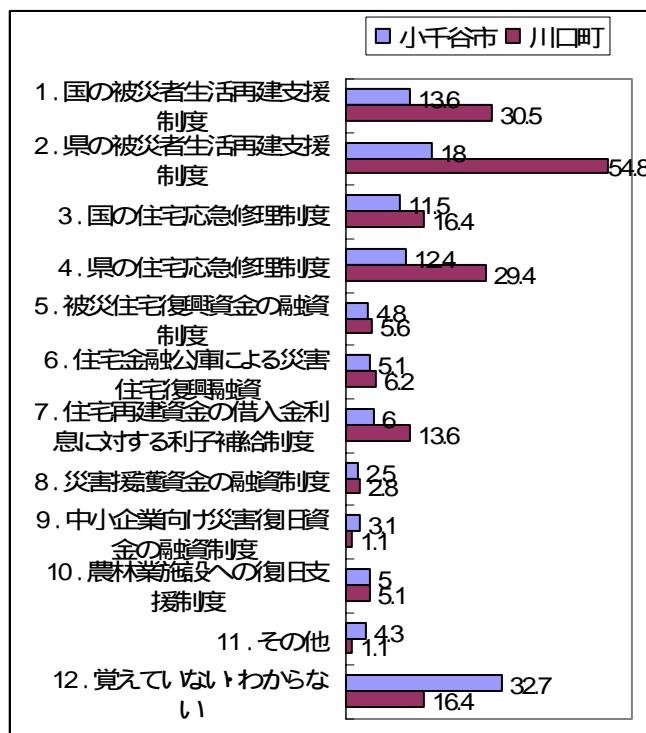


5. 資金援助

公的資金援助は利用者が少なめ

地震後、行政では様々な資金支援対策を実施した。しかし住宅の被害状況や所得制限、使用用途の限定などから、必ずしも使いやすい制度とはなっていない現状がある。そこでまずそれらの資金的援助を受けたかをたずねた。その結果、県の生活再建支援制度がもっとも利用者が多く、川口では54.8%、小千谷では18.0%の世帯で利用していた。それに対して、国の生活再建支援制度を利用した人は、川口で30.5%、小千谷で13.6%とやや少なくなっている。

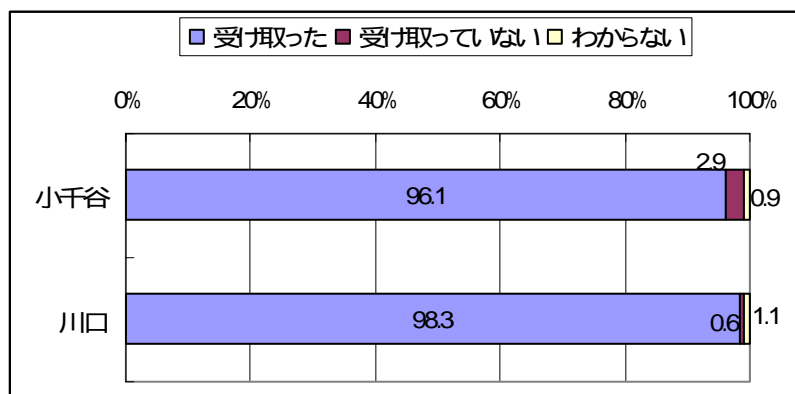
資金的援助を受けたか



義捐金は、ほぼ全世帯が受けとる

一方、義捐金は、ほとんどの世帯が受け取っていた。

義捐金を受け取ったか

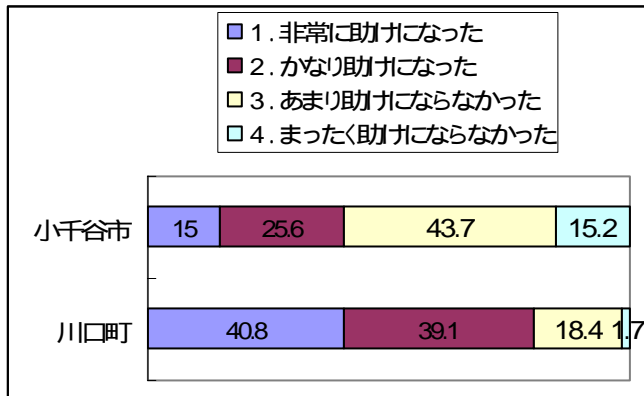


助けになった義捐金

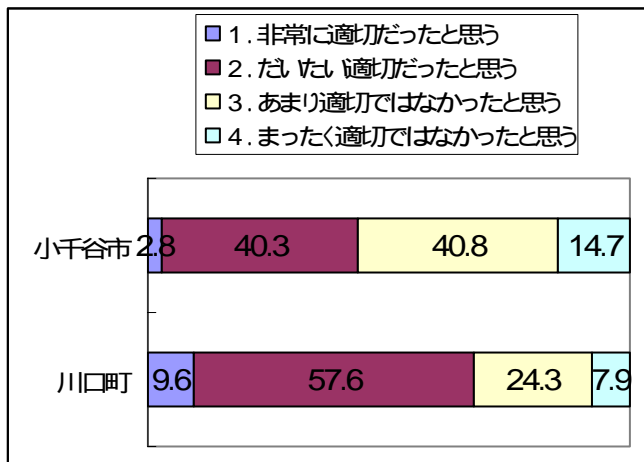
義捐金が助けになったか、をたずねたところ、小千谷では40.6%、川口では79.9%の世帯が「助けになった」と、高い評価をしている。被害が大きく、義捐金の金額が大きかった川口では、特に評価が高かった。

ただ、その配分方法については、半分前後の人が不満をもっているようであった。

義捐金は役に立ったか



義捐金配分方法の評価



平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査

(小千谷市・川口町版 個人票)

内閣府 (防災担当)

調査 依頼日	<input type="text"/>	回収 予定日	<input type="text"/>	SEQ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-----------	----------------------	-----------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【 記入に際してのお願い 】

ご記入は鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。

回答の方法は、あてはまる番号を選んで で囲んでいただくものと、具体的な内容を書いていただくものがあります。特に「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。質問によっては、次に進む質問箇所が異なる場合があります。問番号横の()内の指示に従ってご回答ください。

ご回答につきましては、7月16日～25日の間に、調査員がお受け取りに伺いますので、その際に調査票をお渡しください。

ご不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

調査主体： 内閣府 (防災担当)

調査実施： 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

アンケート調査事務局 担当:中島・佐藤

フリーダイヤル 0120-223-898

受付時間は9:30～17:30となっております(土日除く)

昨年の新潟県中越地震についてお伺いしていきます。まず、地震が起こった当日のことをお尋ねします。

問1 最初の大きな地震が、10月23日18時頃に起こった時、あなたはどこにいましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自宅	65.1	71.9
2. 自宅以外の建物の中	17.0	12.6
3. 屋外にいた	4.7	3.6
4. 乗り物で移動中だった	9.0	4.8
5. その他	0.3	1.2
6. 地震当時、中越地方にいなかった	3.8	6.0
	(N=654)	(N=167)

問1で「6」と答えた方は、問11へ進んでください。

問2 揺れている最中に、あなたはどのような行動をとりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. その場でじっとして様子を見ていた	46.4	43.9
2. 全く動けなかった	25.3	30.6
3. 机やテーブルの下にもぐった	7.2	7.0
4. ドアや窓を開けた	5.2	7.0
5. 家具に挟まれたり、下敷きになったりした	0.8	1.9
6. 頑丈なものにつかまって身をささえた	19.2	22.9
7. 家の中の物が飛んできて、体に当たった	7.3	8.3
8. 屋外に飛び出した	35.9	25.5
9. 老人や子供を守ろうとした	20.2	22.3
10. 屋外にいたので建物の中に入ろうとした	0.8	-
11. その他	9.7	9.6
12. 覚えていない	0.2	-
無回答	0.2	-
	(N=629)	(N=157)

問3 揺れがおさまった直後の10分位の間、あなたは、どのような行動をとりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 懐中電灯を探した	37.2	35.0
2. ラジオ・携帯ラジオをつけた	11.3	6.4
3. テレビ・携帯テレビをつけた	1.3	1.9
4. 車のラジオをつけた	17.8	18.5
5. 車のテレビをつけた	4.8	1.9
6. 屋外に出て様子を見た	64.7	70.7
7. 家の中の後片付けをした	0.3	-
8. 家の田畑や倉庫・店舗などの様子を見に行った	1.0	1.3
9. 近くの親族や知人の様子を見に行った	11.1	14.6
10. 家の外にいた家族と連絡をとろうとした	18.4	17.2
11. 家に戻った	11.4	3.2
12. 家にいた家族と連絡をとろうとした	22.4	26.8
13. 役場や警察・消防に連絡をとろうとした	0.6	1.9
14. その他	9.5	16.6
15. あてはまるものはない・覚えていない	1.1	0.6
	(N=629)	(N=157)

問4 地震が起こった日の夜、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 家が壊れて家にいられなかったこと	14.6	23.6
2. 余震が怖くて家に入れなかったこと	71.7	68.2
3. 適当な避難場所がなかったこと	16.2	26.1
4. 電気が止まったこと	76.9	76.4
5. ガス・水道が止まった	67.6	57.3
6. 電話が通じなかった	56.1	56.7
7. 携帯電話が通じなかった	53.7	52.9
8. 携帯電話の電池切れ	16.1	13.4
9. 家族・知人の安否が分からなかった	34.3	45.2
10. テレビを見ることができなかった	35.6	31.2
11. ラジオを聴くことができなかった	8.1	14.6
12. 食事	43.2	42.0
13. 交通機関がマヒした	18.8	34.4
14. 暖房	20.0	29.9
15. 寝具	13.0	22.3
16. トイレ	60.1	61.1
17. 道路が壊れて、動けなかった	22.1	38.9
18. その他	5.6	6.4
19. 何も困ったことはなかった	0.2	-
	(N=629)	(N=157)

問5 最初の大きな地震が起こった日(10月23日)の夜、あなたは、近所の人を崩れた家から助けたり、避難の手伝いをしたりしましたか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. していない	52.3	44.6
2. 近所の人を崩れた家から助け出した	3.0	6.4
3. ひとりでは避難の難しい近所の人と一緒に避難した	26.1	34.4
4. 水や食料などを分けた	27.7	26.8
5. 家に泊めたり休ませたりした	3.0	1.9
6. その他	9.5	14.6
	(N=629)	(N=157)

問6 では、最初の大きな地震が起こった日（10月23日）の夜、あなたやあなたの家族は、近所の人から手助けを受けましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 何の手助けもされなかった	46.7	43.3
2. 崩れた家から自分が助け出された	0.3	0.6
3. 崩れた家から家族が助け出された	0.6	0.6
4. 一緒に避難するなど、自分の避難を助けてもらった	12.7	17.8
5. 一緒に避難するなど、家族の避難を助けてもらった	25.3	26.1
6. 水や食料などを分けてもらった	29.4	38.2
7. 家に泊めてもらったり休ませてもらったりした	3.2	3.8
8. その他	7.9	6.4
無回答	0.2	1.3
	(N=629)	(N=157)

問7 地震が起こった日の夜、あなたが知りたかった情報は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 地震の規模や発生場所	74.4	79.0
2. 震度	41.7	45.9
3. 余震の今後の見通し	70.1	67.5
4. 地震の全体の被害	57.2	59.9
5. 家族・知人の安否	59.6	63.1
6. 火災の状況	16.1	12.7
7. 国や県や市役所や町役場がどんな対応をしているか	25.6	39.5
8. 水や食料	41.3	42.0
9. どの病院にいけばよいか	5.1	10.2
10. 具体的にどう行動すればよいか	28.9	32.5
11. 避難場所	26.1	35.0
12. 電話・携帯電話のつながり具合	34.8	29.3
13. その他	1.1	1.9
14. 知りたい情報はなかった	0.8	-
無回答	0.2	-
	(N=629)	(N=157)

問8 地震が起こった日の夜、あなたはその知りたい情報を主に何から得ましたか。あてはまるものをいくつかでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. カーラジオ	52.9	52.2
2. カーナビのテレビ	15.4	8.3
3. 家のテレビ	1.0	-
4. 携帯ラジオ	32.8	25.5
5. 近所の人たちとの会話	43.6	52.9
6. その他	6.0	8.3
7. 知りたい情報はなかった	1.0	1.3
無回答	2.1	3.8
	(N=629)	(N=157)

問9 地震が起こった日の夜、あなたが知りたかった情報はおおむね得ることが出来ましたか。それとも得られませんでしたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 十分に得ることができた	1.1	1.3
2. だいたい得ることができた	20.7	9.6
3. あまり得られなかった	42.4	27.4
4. ほとんど得られなかった	35.8	61.8
	(N=629)	(N=157)

問10 地震が起こった夜に、あなたが特に困ったことがあれば、ご記入ください。

次に、避難生活のことをお尋ねします。

問11 地震が起こった10月23日の夜、あなたは翌朝まで主にどこで過ごしましたか。あてはまるものを1つだけ選んで をつけてください。

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 自宅の中	4.9	1.8
2. 市・町が指定した避難所の建物の中	6.3	3.0
3. 車の中	68.2	57.5
4. 市・町内の親戚・知人の家	1.2	0.6
5. 市・町外の親戚・知人の家	1.5	1.2
6. その他	17.9	35.9
	(N=654)	(N=167)

問12 では、あなたは、地震が起こった日から現在まで、どのようなところで生活しましたか。現在生活しているところもふくめて、次の中からあてはまるものをいくつでも選び、生活された順番に記入欄にご記入ください。(例： 3 4 8 9)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	6.9	1.2
2. 地震後に移転した自宅	-	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	8.7	7.2
4. 車の中	68.0	61.1
5. 市・町内の親戚・知人の家	1.7	0.6
6. 市・町外の親戚・知人の家	0.6	1.2
7. ホテルや旅館	0.6	0.6
8. 自衛隊のテント	-	-
9. 仮設住宅	-	-
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	13.5	28.1
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	43.6	24.0
2. 地震後に移転した自宅	0.5	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	14.7	23.4
4. 車の中	9.0	12.0
5. 市・町内の親戚・知人の家	3.1	1.8
6. 市・町外の親戚・知人の家	5.2	7.8
7. ホテルや旅館	0.5	1.2
8. 自衛隊のテント	2.0	7.2
9. 仮設住宅	1.2	1.8
10. 市営住宅・町営住宅	0.2	0.6
11. 民間賃貸住宅	0.6	-
12. その他	16.1	20.4
無回答	3.5	-
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	34.7	36.5
2. 地震後に移転した自宅	0.8	0.6
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	4.3	6.0
4. 車の中	1.7	4.8
5. 市・町内の親戚・知人の家	1.4	2.4
6. 市・町外の親戚・知人の家	2.4	4.8
7. ホテルや旅館	0.6	1.2
8. 自衛隊のテント	2.3	5.4
9. 仮設住宅	2.1	6.0
10. 市営住宅・町営住宅	0.3	-
11. 民間賃貸住宅	0.9	1.2
12. その他	2.3	8.4
無回答	46.2	22.8
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	10.9	16.8
2. 地震後に移転した自宅	0.2	0.6
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	0.5	3.0
4. 車の中	0.3	0.6
5. 市・町内の親戚・知人の家	0.3	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	0.5	1.2
7. ホテルや旅館	0.3	-
8. 自衛隊のテント	0.2	3.6
9. 仮設住宅	1.7	7.8
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	0.6	1.2
12. その他	0.5	1.8
無回答	84.3	63.5
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	1.8	4.8
2. 地震後に移転した自宅	-	0.6
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	0.3	0.6
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	0.3	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	0.6
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	-	0.6
9. 仮設住宅	0.6	3.6
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	0.2	-
12. その他	0.2	0.6
無回答	96.6	88.6
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.9	1.2
2. 地震後に移転した自宅	-	0.6
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-	-
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	-
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	0.2	-
9. 仮設住宅	0.5	1.2
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	-	-
無回答	98.5	97.0
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.3	0.6
2. 地震後に移転した自宅	-	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-	-
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	-
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	-	-
9. 仮設住宅	0.3	-
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	-	-
無回答	99.4	99.4
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.3	-
2. 地震後に移転した自宅	-	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-	-
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	-
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	-	-
9. 仮設住宅	-	-
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	-	-
無回答	99.7	100.0
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	-	-
2. 地震後に移転した自宅	-	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-	-
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	-
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	-	-
9. 仮設住宅	0.2	-
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	-	-
無回答	99.8	100.0
	(N=654)	(N=167)

記入欄

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.2	-
2. 地震後に移転した自宅	-	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-	-
4. 車の中	-	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-	-
7. ホテルや旅館	-	-
8. 自衛隊のテント	-	-
9. 仮設住宅	-	-
10. 市営住宅・町営住宅	-	-
11. 民間賃貸住宅	-	-
12. その他	-	-
無回答	99.8	100.0
	(N=654)	(N=167)

記入欄統合（複数回答）

	小千谷市(%)	川口町(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	94.2	83.2
2. 地震後に移転した自宅	1.4	2.4
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	27.5	38.9
4. 車の中	77.8	74.3
5. 市・町内の親戚・知人の家	6.4	4.8
6. 市・町外の親戚・知人の家	8.7	13.8
7. ホテルや旅館	2.0	3.0
8. 自衛隊のテント	4.6	16.2
9. 仮設住宅	6.1	20.4
10. 市営住宅・町営住宅	0.5	0.6
11. 民間賃貸住宅	2.3	2.4
12. その他	30.9	51.5
	(N=654)	(N=167)

問13 (今回の地震以後、一時的にでも自宅以外に避難した人にお尋ねします)

あなたが、自宅以外の所へ避難していた理由は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自宅は壊れて中にいられる状況ではなかったから	25.1	43.7
2. 余震によるがけ崩れで、家が押しつぶされと思ったから	4.9	8.4
3. 余震による揺れで、家がつぶれると思ったから	58.3	54.5
4. 自宅の電気や水がとまっていたから	55.0	61.7
5. 近所の人達が、避難していたから	27.5	20.4
6. 家族から、避難しようと言われたから	14.8	7.2
7. 近所の人から、避難したほうがよいと言われたから	10.1	10.2
8. その他	12.4	16.2
9. 自宅を離れたことはなかった	5.4	-
無回答	1.1	2.4
	(N=654)	(N=167)

問14 (問12で「3」と答えた人にお伺いします)

あなたが避難所を利用した理由は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 避難する場所として指定されていたから	51.1	52.3
2. 避難所を利用した方が安全だと思ったから	67.2	64.6
3. 食事や毛布などが提供されるから	43.3	21.5
4. いろいろな情報が入手しやすいから	47.2	38.5
5. ほかに行くところがなかったから	27.2	32.3
6. その他	12.8	10.8
無回答	1.7	3.1
	(N=180)	(N=65)

問15 (問12で「3」と答えた人にお伺いします)

避難所に避難しているとき不便や不満を感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. プライバシー	50.0	56.9
2. 人間関係	28.3	35.4
3. 騒がしさ	41.1	35.4
4. 照明	21.7	13.8
5. 風呂	59.4	50.8
6. 洗濯	45.0	46.2
7. トイレが遠い、使いにくい	47.8	44.6
8. トイレが汚い	41.7	29.2
9. 寝具	21.7	12.3
10. 食事や飲料水の量が不足	18.3	15.4
11. 食事や飲料水の内容(温かさ、固さなど)	22.8	10.8
12. 寒さ	22.8	18.5
13. 空気が悪い	26.7	12.3
14. 風邪・インフルエンザ	26.7	15.4
15. 電話を使いにくい	11.7	10.8
16. マスコミの情報が入りにくい	6.1	10.8
17. 行政の情報が入りにくい	17.8	16.9
18. マスコミの取材	18.3	18.5
19. 交通の便	10.0	15.4
20. なんとなく落ち着かなかった	51.7	63.1
21. その他	5.6	4.6
22. 特に不便はなかった	1.7	3.1
無回答	1.1	-
	(N=180)	(N=65)

問16 (問12で「3」と答えた人にお伺いします)

あなたは次のようなことを避難所での生活で体験しましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. トイレが心配で、水を飲むのを控えた	33.3	13.8
2. 常用していた薬が無くなり困った	8.9	4.6
3. 避難生活で足腰が弱った	8.9	6.2
4. 避難所で、段差や階段があって動くのに困った	2.2	4.6
5. メガネ、補聴器、杖などが使えず困った	1.7	1.5
6. 避難生活で体調を崩して医者にかかった	23.9	23.1
7. ほかの人より行動が遅く、気がねした	5.6	4.6
8. その他	2.2	6.2
9. あてはまるものがない	41.7	52.3
	(N=180)	(N=65)

問17 (問12で「4」と答えた人にお伺いします)

あなたは、どのくらいの期間、車の中で寝泊りしましたか。あてはまるものを1つだけ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 1日だけ	16.1	6.5
2. 3日以内	26.5	25.8
3. 4~6日間	21.2	22.6
4. 1週間程度	23.2	17.7
5. 2週間程度	9.0	16.1
6. 2週間以上	3.9	11.3
7. その他	-	-
	(N=509)	(N=124)

問18 (問12で「4」と答えた人にお伺いします)

では、なぜ、車で寝泊りしたのですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自宅のそばにいたかったから	51.3	37.9
2. 情報が得やすかったから	20.2	10.5
3. 泥棒を警戒して	10.4	7.3
4. 暖を取りやすかったから	33.8	37.1
5. 避難所がいっぱいで入れなかったから	13.6	20.2
6. 余震が続くから	68.8	58.1
7. 建物の中にいるのが恐かったから	63.9	48.4
8. ラジオから情報が入るから	35.6	30.6
9. 移動が容易だから	16.1	10.5
10. プライバシーが守られるから	23.0	25.8
11. 乳幼児や病人がいて避難場所に居づらかったから	4.5	4.8
12. 快適だから	1.2	1.6
13. その他	13.6	22.6
	(N=509)	(N=124)

問19 (問12で「4」と答えた人にお伺いします)

あなたは、車中に避難していたとき、次のようなことがありましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 体調を崩した	20.0	34.7
2. トイレに行けなくて困った	36.7	28.2
3. 市や町からの情報が入ってこなかった	28.5	28.2
4. プライバシーが守られた	27.3	25.0
5. 快適だった	2.0	2.4
6. 余震に対して安全だった	60.1	53.2
7. その他	7.5	8.1
無回答	2.2	4.8
	(N=509)	(N=124)

問20 (問12で「9」と答えた人にお伺いします)

あなたは仮設住宅についてどう感じていますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 狭い	75.0	61.8
2. 買い物が不便	15.0	8.8
3. 職場が遠い	2.5	2.9
4. 防音が悪い	67.5	47.1
5. ひさしが短い	40.0	20.6
6. 結露がひどい	77.5	35.3
7. 自宅に泥棒が入るかもしれず心配だ	15.0	11.8
8. 雪下ろしが難しい	50.0	38.2
9. 近所がまとまって居住できるのでありがたい	42.5	29.4
10. 住宅があるだけでありがたい	47.5	73.5
11. 家が壊れる心配が無いので、安心して生活できるようになった	30.0	20.6
12. その他	17.5	11.8
	(N=40)	(N=34)

問21 (問12で「9」と答えた人にお伺いします)

次に、仮設住宅について、あなたの考えにあてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 同じ集落の人は、1つの仮設住宅に集まっていた良かった	57.5	67.6
2. 集落ごとに、仮設住宅を分けた方が良い	30.0	14.7
3. 集落のつきあいが保たれて良かった	37.5	41.2
4. 植物を植えられる庭があって良かった	-	-
5. 近くに農園ができて良かった	7.5	-
6. お店を営業している仮設住宅があって良かった	2.5	-
7. 仮設住宅の敷地の中で、お店を営業している車があって良かった	7.5	5.9
8. その他	7.5	-
無回答	10.0	14.7
	(N=40)	(N=34)

問22 (ふたたび全員がお答えください)

今回の地震の後、避難先として温泉地の旅館などの斡旋がりましたが、あなたの家庭では利用しましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 利用しなかった	95.3	89.2
2. 利用した	4.7	10.8
	(N=654)	(N=167)

問23 (問22で「1」と答えた人にお伺いします)

利用しなかった理由として、あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 避難してしまうと、仕事上で不便が生じるから	32.3	40.3
2. 避難してしまうと、近くの人達と離れてしまうから	10.3	13.4
3. 避難してしまうと、家やまちの様子がわからなるから	20.7	32.2
4. 避難してしまうと、市や町からの情報が入りにくくなると思ったから	12.8	19.5
5. なんとなく温泉に行く気分になれなかったから	34.2	41.6
6. 泥棒を警戒して	9.0	8.7
7. 家族の都合があわなかったから	11.9	12.1
8. そうした斡旋・紹介を知らなかったから	26.6	18.1
9. 避難していた所に不便を感じていなかったから	14.1	13.4
10. 紹介先の旅館など避難しても、不便が改善するとは思わなかったから	8.0	8.1
11. 紹介先の旅館などの情報が少なく、状況がよくわからなかったから	12.2	10.7
12. 費用がかかると思ったから	6.4	3.4
13. その他	12.0	20.1
無回答	0.6	-
	(N=623)	(N=149)

問24 (問22で「1」と答えた人にお伺いします)

では、そうした旅館を、地域の人々が皆一緒に利用することができていたら、あなたは利用していたと思いますか。それとも、利用していなかったと思いますか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 利用していたと思う	18.0	22.1
2. 利用しなかったと思う	51.7	47.7
3. わからない	30.2	29.5
無回答	0.2	0.7
	(N=623)	(N=149)

問25 (問22で「2」と答えた人にお伺いします)

では、実際に利用してみてもいいか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. プライバシーが守られるようになった	6.5	-
2. トイレや風呂などの生活環境が良くなった	38.7	66.7
3. ゆっくり休めてよかった	80.6	50.0
4. 子どもや体の弱い家族にとって、過ごしやすくなった	6.5	11.1
5. 友人・知人と離れて寂しかった	-	-
6. 家のことが心配で落ち着かなかった	12.9	33.3
7. その他	3.2	16.7
無回答	3.2	-
	(N=31)	(N=18)

問26 (ふたたび全員がお答えください)

地震が起こってから、自宅に戻ったり、仮設住宅や公営住宅・民間賃貸住宅である程度落ちついた生活ができるようになるまで、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 余震が怖くて家に入れなかったこと	53.2	49.1
2. 電気が止まったこと	79.1	73.1
3. ガス・水道が止まったこと	86.9	85.6
4. 食事	41.0	30.5
5. 交通機関がマヒしたこと	24.9	51.5
6. 暖房	21.7	19.8
7. 落ち着いて避難生活を送る場所がなかったこと	12.4	21.6
8. 寝具	11.8	12.0
9. トイレ	63.0	64.7
10. 留守宅への泥棒が心配だった	13.9	14.4
11. 入浴	78.6	75.4
12. 体調	24.6	25.1
13. ゴミや廃棄物の処理	29.7	26.9
14. ペット	9.2	11.4
15. 携帯電話の電池切れ	23.7	21.6
16. ガソリン	25.1	32.9
17. その他	1.5	5.4
18. 何も困ったことはなかった	0.8	1.8
無回答	0.2	-
	(N=654)	(N=167)

問27 避難所や仮設住宅での暮らしで、あなた自身が特に困ったことがあれば、ご記入ください。

問28 避難所や仮設住宅の生活で、困ったり苦労したりしていた方を知っていますか。体の不自由な方など、そうした方をご存知でしたら、どのようなことに苦労していたかご記入ください。

問29 あなたは、地震後、次のようなことを感じたことはありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 地震で、家族に、死者やけが人が出たことが辛い	3.4	4.8
2. 自分や家族の健康が心配	43.3	47.9
3. 何もすることがなく生活にはりがない	7.2	7.8
4. 慣れない土地で、なじめない	0.6	1.8
5. 仮住まいを出て、早く落ち着きたい	6.9	18.0
6. 自宅の被害の様子がよく分からず不安	12.4	18.0
7. 自宅に被害があって辛い	41.7	55.7
8. 自宅に行けず雪を下ろせないで、家が壊れないか不安だった	1.5	1.8
9. 世帯の収入源となる仕事に影響があって心配	15.9	18.0
10. 自分達だけが、どうして大変な目にあわなくてはいけないのだろう	13.9	21.6
11. 被災者として特別扱いされている気がする	1.5	4.2
12. 以前よりも、町内や集落の人付き合いが減った気がする	3.1	10.2
13. その他	7.6	10.2
14. あてはまるものはない	18.7	12.0
	(N=654)	(N=167)

次に、災害時の情報についてお尋ねします。

問30 まず、放送局や新聞社が被災した人たちに向け提供した生活情報は、役に立ちましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. NHK ラジオで定期的に放送している生活情報	50.0	43.7
2. BSN ラジオの「中越地震情報ステーション」	25.8	15.0
3. FM 新潟の生活関連情報	13.1	13.8
4. テレビで放送している生活情報	39.9	32.9
5. 新潟日報の生活関連情報	33.0	37.1
6. 全国紙の地方版に掲載された生活情報	19.0	21.6
7. コミュニティ FM	1.1	1.8
8. その他	2.3	5.4
無回答	12.2	13.2
	(N=654)	(N=167)

問31 あなたは、今回の地震におけるテレビ・ラジオ・新聞の報道をどのように評価しますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 地域が偏っていて、自分の住んでいる地域についての情報が少ない	37.3	62.9
2. 地域が偏っていて、救援物資が届く場所と届かない場所が出てきた	56.0	43.1
3. マスコミがたくさん来て、迷惑だった	16.2	21.6
4. 被災者にカメラを向けて、まるで見世物のような扱いだった	13.6	18.0
5. 役場にマスコミが押しかけ、相談しにくかった	3.4	3.0
6. 避難生活等、被災地の住民が求めている肝心な情報が少なかった	25.8	35.9
7. 東京で地震が発生した場合の被害想定などを放送するのは不愉快だ	6.4	12.0
8. 被害の画面や写真をあまり見たくなかった	7.5	6.6
9. その他	5.7	6.6
無回答	13.1	5.4
	(N=654)	(N=167)

問32 地震当日、あなたは電話や携帯電話を使おうとしましたか。また、それらはどのくらい使えましたか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで をつけてください。

小千谷市 (N=654)

	すぐに つながり、 問題なく使えた	つながり にくかったが、 使えた	つながり にくく、 全く使え なかった	普段から 使わないので 使おうと しなかった	無回答
固定電話	2.6	14.4	59.6	21.3	2.1
公衆電話	0.8	1.7	7.2	89.8	0.6
携帯電話・PHS (音声)	1.8	30.1	39.0	28.4	0.6
携帯メール	6.6	25.4	12.7	54.3	1.1

川口町 (N=167)

	すぐに つながり、 問題なく使えた	つながり にくかったが、 使えた	つながり にくく、 全く使え なかった	普段から 使わないので 使おうと しなかった	無回答
固定電話	1.2	13.2	62.3	17.4	6.0
公衆電話	-	2.4	12.6	85.0	-
携帯電話・PHS (音声)	0.6	21.0	44.3	32.9	1.2
携帯メール	2.4	21.0	12.6	63.5	0.6

災害時に電話が込み合って使えない時に、安否を伝えるために、固定電話には、「災害用伝言ダイヤル (171)」というサービスが、携帯電話には、「iモード災害用伝言板」というサービスがあります。

問33 今回の地震の時、あなたはこれらのサービスを使いましたか。それぞれ1つずつ選んで をつけてください。

小千谷市 (N=654)

	使った	使わなかった
A. 固定電話の「災害用伝言ダイヤル (171)」	2.9	97.1
B. 携帯電話「iモード災害用伝言板」	5.0	95.0

川口町 (N=167)

	使った	使わなかった
A. 固定電話の「災害用伝言ダイヤル (171)」	2.4	97.6
B. 携帯電話「iモード災害用伝言板」	3.6	96.4

今回の地震についてのあなたの意識と国・県・市や町など行政の対応についてお尋ねします。

問34 この地震が発生する何日前に、政府の地震調査推進本部が、「長岡平野西縁断層帯」という長岡にある断層の存在を発表しました。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 知っていた	6.6	6.0
2. 知らなかった	93.4	94.0
	(N=654)	(N=167)

問35 この地震が起きる前に、あなたの住んでいる地域で大きな地震が起きると思っていましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 思っていた	4.1	1.8
2. 少し思っていた	19.9	7.8
3. あまり思っていなかった	24.3	16.8
4. まったく思っていなかった	51.7	73.7
	(N=654)	(N=167)

問36 では、国・県・市町など行政の対応について、よかった点は何だと思えますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 比較的すぐに避難所に入れたこと	15.3	12.0
2. 食料の配給開始が早かったこと	45.4	37.1
3. 給水車が早く来たこと	42.4	6.0
4. 自衛隊が早く来たこと	46.6	52.1
5. 他の市町村からの応援が来たこと	35.3	30.5
6. 家屋被害認定が早かったこと	6.7	22.8
7. ボランティアのへ対応がよかったこと	21.4	25.1
8. 住宅の応急修理など行政の対応が早かったこと	1.2	3.0
9. 比較的早く仮設住宅に入れたこと	1.8	4.2
10. 行政からの情報が十分だったこと	2.3	2.4
11. その他	2.3	2.4
無回答	12.4	17.4
	(N=654)	(N=167)

問37 行政の対応について、悪かった点は何だと思えますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 避難所の開設が遅れたこと	7.3	26.3
2. 食料の配給開始が遅れたこと	26.9	31.7
3. 給水車が遅かったこと	18.2	27.5
4. 自衛隊の対応が遅かったこと	6.9	19.2
5. 他の市町村からの応援が遅れたこと	4.7	10.8
6. 家屋被害認定が遅かったこと	23.4	16.2
7. ボランティアへの対応が悪かったこと	5.5	15.6
8. 住宅の応急修理など行政の対応が遅かったこと	19.1	25.1
9. 仮設住宅の建設が遅れたこと	7.6	8.4
10. 行政からの情報が不十分だったこと	47.2	66.5
11. その他	6.1	6.0
無回答	20.2	10.2
	(N=654)	(N=167)

問38 今回の地震について、あなたの思っていることを何でも結構ですからお書きください。

最後に、あなたご自身のことをお尋ねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 男性	57.5	47.9
2. 女性	42.5	52.1
	(N=654)	(N=167)

F2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 20～29 歳	7.8	5.4
2. 30～39 歳	11.0	9.0
3. 40～49 歳	17.1	18.0
4. 50～59 歳	33.0	37.7
5. 60～69 歳	21.6	19.2
6. 70 歳以上	9.5	10.8
	(N=654)	(N=167)

F3 あなたの地震前の職業は次のどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自営業者	11.6	5.4
2. 専門的・技術的職業	15.7	13.8
3. 事務従業者	7.2	9.0
4. 販売従業者	2.1	1.2
5. 職人・熟練作業員	5.8	7.2
6. 生産工程従業者	11.0	7.8
7. サービス的職業	7.8	7.2
8. 経営・管理的職業	2.0	3.6
9. 農・林・漁業従業者	5.5	13.8
10. 主婦 (パート・アルバイト)	7.0	12.0
11. 専業主婦	11.3	12.0
12. 学生	-	-
13. その他	0.5	-
14. 無職	12.4	7.2
	(N=654)	(N=167)

F4 あなたは、地震の前に、携帯電話を持っていたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 持っていた	67.1	60.5
2. 持っていなかった	32.9	39.5
	(N=654)	(N=167)

ご協力ありがとうございました。

皆さまのご回答を、今後の防災、災害対策に役立てていきたいと存じます。

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査

(小千谷市・川口町版 世帯票)

内閣府 (防災担当)

調査 依頼日	<input type="text"/>	回収 予定日	<input type="text"/>	SEQ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-----------	----------------------	-----------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【 記入に際してのお願い 】

ご記入は鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。

回答の方法は、あてはまる番号を選んで で囲んでいただくものと、具体的な内容を書いていただくものがあります。特に「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。質問によっては、次に進む質問箇所が異なる場合があります。問番号横の()内の指示に従ってご回答ください。

ご回答につきましては、7月16日～25日の間に、調査員がお受け取りに伺いますので、その際に調査票をお渡しください。

ご不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

調査主体： 内閣府 (防災担当)

調査実施： 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

アンケート調査事務局 担当:中島・佐藤

フリーダイヤル 0120-223-898

受付時間は9:30～17:30となっております(土日除く)

はじめに、地震が起こった日のことをお尋ねします。

問1 10月23日午後6時頃の大きな地震によって、あなたのお住まいはどんな被害がありましたか。まず自宅の被害について、行政の被害認定の結果を次の中から1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 全壊	2.8	39.0
2. 大規模半壊	2.3	12.4
3. 半壊	21.4	28.2
4. 一部損壊	72.1	19.8
5. 被害なし	0.3	0.6
6. 調査を受けていない	0.9	-
7. 調査結果を覚えていない・分からない	0.2	-
	(N = 645)	(N = 177)

問2 (問1で「1」～「5」と答えた人にお伺いします)

被害認定の結果に納得できず、認定のやり直しを依頼しましたか。あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 結果に納得し、やり直しは依頼しなかった	44.8	71.8
2. 結果に納得しなかったが、やり直しは依頼しなかった	25.1	11.9
3. 結果に納得できず、やり直しを依頼し、結果が変わった	19.3	9.6
4. 結果に納得できず、やり直しを依頼したが、結果は変わらなかった	10.3	6.2
5. その他	0.3	0.6
無回答	0.2	-
	(N = 638)	(N = 177)

問3 では、自宅の被害のほか、次のような被害はありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 家が土砂崩れに巻き込まれた	1.1	2.3
2. 家の内壁に多くの亀裂が入ったり、落ちたりした	77.5	84.7
3. 屋根の瓦がずれたり、落ちたりした	18.9	22.0
4. たんす・食器棚などが倒れた	80.9	84.2
5. ブロック塀が倒れたり、ひびが入ったりした	20.2	20.3
6. 窓ガラスにひびが入ったり割れたりした	37.8	61.0
7. 食器棚から食器が落ちて壊れた	87.1	88.1
8. トイレ、風呂などの設備の具合が悪くなった	53.5	61.0
9. 自家用車が壊れて動かなくなった	4.5	5.6
10. その他	20.2	17.5
11. 特に被害はなかった	0.6	0.6
	(N = 645)	(N = 177)

問4 お宅では、宅地あるいはお宅の地盤に被害がありましたか。あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 宅地(地盤)に被害があった	44.3	65.5
2. 宅地(地盤)の被害はなかった	51.3	32.2
3. その他	3.1	1.7
無回答	1.2	0.6
	(N = 645)	(N = 177)

問5 今回の地震では、応急危険度判定を受けた家屋には、危険（赤）、要注意（黄）、調査済（緑）の札が貼られました。あなたの家の応急危険度判定の結果はどのようなものでしたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 「危険（赤）」	6.4	28.2
2. 「要注意（黄）」	16.6	18.6
3. 「調査済（緑）」	23.1	32.2
4. 札は貼られなかった	53.2	19.8
5. 覚えていない・分からない	0.6	1.1
無回答	0.2	-
	(N = 645)	(N = 177)

問6 10月23日の午後6時頃の大きな地震が起こったとき、お宅では何か火を使っていましたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 火を使っていた	38.6	41.8
2. 火を使っていなかった	61.4	58.2
	(N = 645)	(N = 177)

問7 （問6で「1」と答えた人にお伺いします）

あなた、あるいはあなたのご家族は、その火の始末をしましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 大揺れがくる前に火を消した	9.2	5.4
2. 大揺れの最中に火を消した	43.4	25.7
3. 揺れが終わってから火を消した	8.4	8.1
4. 自動的に消えた	48.6	67.6
5. 火は消さなかった	0.8	1.4
6. その他	2.4	1.4
無回答	0.4	-
	(N = 249)	(N = 74)

問8 10月23日の大地震が起こった後、お宅は停電しましたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 停電した	99.8	100.0
2. 停電しなかった	0.2	-
	(N = 645)	(N = 177)

問9 (問8で「1」と答えた人にお伺いします)

そのときの停電はどのくらい続きましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 地震当日だけ	0.3	-
2. 1~2日間(当日復旧を除く)	0.6	1.1
3. 3~4日間	21.0	3.4
4. 5~10日間	50.6	38.4
5. 10~20日間	18.0	28.8
6. 20~30日間	4.5	15.8
7. 1ヶ月以上	4.2	11.3
無回答	0.8	1.1
	(N = 644)	(N = 177)

次に、最初の地震が起こってから後のことをお尋ねします。

問10 お宅では、今回の一連の地震によって、ご家族のどなたかがけがをしましたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. けがをした者がいた	16.0	21.5
2. けがをした者はいない	84.0	78.5
	(N = 645)	(N = 177)

問11 (問10で「1」と答えた人にお伺いします)

そのけがはどのようなときになさったのですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 最初の地震でけがをした	78.6	86.8
2. 後の余震でけがをした	20.4	13.2
無回答	1.9	-
	(N = 103)	(N = 38)

問12 (問10で「1」と答えた人にお伺いします)

そのけがについて、あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 建物の倒壊によってけがをした	3.9	5.3
2. 家具等の転倒によってけがをした	21.4	21.1
3. ストープや火事などによってやけどをした	1.9	5.3
4. 瓦や看板などの落下物によってけがをした	2.9	-
5. 壊れたガラスや食器によってけがをした	35.9	44.7
6. 逃げようとして物にぶつかったりころんだりした	31.1	23.7
7. その他	15.5	23.7
無回答	1.0	-
	(N = 103)	(N = 38)

問13 地震が起こった当日の夜から、自宅を再建したり、仮設住宅や公営住宅に移転したりして、生活が落ち着くまで、あなたの家族が過ごしていた場所について、あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 家族全員が、ずっと一緒に過ごしていた	64.2	49.7
2. 家族が別々に、違う場所に避難していた時期があった	28.1	39.5
3. 家族の一部を、介護施設に入所させた	5.4	6.2
4. 家族の一部を、被災地の外へ避難させた	10.4	22.6
5. その他	3.6	5.1
無回答	0.5	-
	(N = 645)	(N = 177)

問14 あなたのご家族のなかに、一人では生活できない高齢者や要介護者はいらっしゃいますか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. いる	21.4	26.0
2. いない	78.6	74.0
	(N = 645)	(N = 177)

問15 (問14で「1」と答えた人にお伺いします)

地震の後に、あなたのご家庭では、次のようなことがありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 訪問看護を受けられない、あるいは受けにくくなった	4.3	8.7
2. デイケアやショートステイなどを利用できなくなった、あるいは利用しにくくなった	10.9	10.9
3. 自宅での介護ができなくなり、介護施設に入所させた	20.3	19.6
4. 自宅での介護ができなくなり、介護施設に入所させようとしたが入所できなかった	2.2	4.3
5. 自宅での介護に必要な特殊機器(人工透析や心臓疾患など)が壊れた	-	-
6. ライフラインの切断により、自宅での介護に必要な特殊機器(人工透析や心臓疾患など)が使えなくなった	2.2	-
7. 自宅での介護に必要な物資(薬や紙おむつなど)が不足した	10.9	13.0
8. 地震前から入所していた介護施設のサービスが悪化した	10.1	4.3
9. その他	18.1	17.4
無回答	36.2	34.8
	(N = 138)	(N = 46)

次に、あなたのお宅の防災対策についてお尋ねします。

問16 お宅では、今回の地震前に次のような防災対策をしていましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自宅の耐震補強や改修をしていた	2.8	4.0
2. 家具を固定していた	7.0	6.2
3. 水や食料などの非常持ち出し用品を用意していた	7.3	4.0
4. 地震保険に入っていた	11.6	6.2
5. JAの建物更生共済に入っていた	43.4	68.4
6. 全労災の自然災害共済に入っていた	5.3	1.7
7. その他	2.5	2.3
8. 特に対策をしていなかった	39.1	24.3
	(N = 645)	(N = 177)

問17 では、あなたの家庭では、現在、どのような防災対策をしていますか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自宅の耐震診断を受けた	2.9	2.3
2. 自宅の耐震補強や改修をした	16.1	16.4
3. 家具の固定などをしている	32.9	22.0
4. 水や食料など非常持ち出し用品を用意している	29.3	21.5
5. 地震保険に入った	5.0	6.8
6. JAの建物更生共済に入った	12.4	24.9
7. 全労災の自然災害共済に入った	2.3	2.8
8. その他	3.6	5.1
9. 特に対策をしていない	30.1	36.2
無回答	0.5	1.1
	(N = 645)	(N = 177)

問18 あなたの家庭で、今回の地震の前に準備していて役立ったことや、今回の地震で得た教訓があれば、教えてください。

ここからは、あなたの世帯の現在の状況と、国や県が行った復興支援対策などについてお尋ねします。

問19 まず、現在のお宅の状況について次のそれぞれの項目別に、あてはまるものをそれぞれ1つ選んで をつけてください。

(1) 自宅の復旧・再建

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. だいたい復旧・再建した	52.7	36.7
2. まだ復旧・再建していないが、目処はたった	29.0	48.0
3. まだ復興しておらず、目処もたっていない	17.1	14.1
無回答	1.2	1.1
	(N = 645)	(N = 177)

(2) 主な働き手の仕事の再開について

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. だいたい再開した	82.2	80.2
2. まだ再開していないが、目処はたった	2.3	4.0
3. まだ再開しておらず、目処もたっていない	2.6	2.8
4. 主に年金で生活している	12.9	13.0
	(N = 645)	(N = 177)

(3) 家族の生活のリズム・落ち着きについて

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. だいたいリズム・落ち着きを取り戻した	85.9	69.5
2. まだリズム・落ち着きを取り戻していないが、目処はたった	10.4	24.9
3. まだリズム・落ち着きを取り戻しておらず、目処もたっていない	3.7	5.6
	(N = 645)	(N = 177)

問20 今回の地震の前に、あなたのお宅では、地震保険やJAの建更、全労済の自然災害共済など災害被害を補償する制度に加入していましたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 加入していた	57.1	75.1
2. 加入していなかった	42.9	24.9
	(N = 645)	(N = 177)

問21 (問20で「2」と答えた人にお伺いします)

お宅でこれらの制度に加入していなかった理由はなぜですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 大きな地震は起きないと思っていたから	68.2	84.1
2. 制度・仕組みを知らなかったから	9.7	4.5
3. 制度・仕組みがわかりにくかったから	12.3	2.3
4. 保険・共済に加入する金銭的余裕がなかったから	37.2	36.4
5. 持ち家ではなかったから	6.9	4.5
6. 自宅の耐震化をしていたから	5.1	2.3
7. その他	5.4	2.3
無回答	-	2.3
	(N = 277)	(N = 44)

問22 あなたは、家を再建する予定がありますか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 再建する予定がある	15.7	26.0
2. すでに住宅を再建した	5.0	7.9
3. 住宅の応急修理を行った	38.0	35.6
4. 被害がなかったので、住宅を再建する必要がない	21.2	5.6
5. もう住宅を再建するつもりはない	11.5	19.8
6. 災害前は賃貸住宅にいたので住宅を建てる予定はない	2.2	1.1
7. その他	5.7	4.0
無回答	0.8	-
	(N = 645)	(N = 177)

問23 (問22で「1」あるいは「2」と答えた人にお伺いします)

お宅では、再建のためにどのような資金計画をお持ちですか、あるいはどのような資金で再建しましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自己資金	61.7	80.0
2. 親戚からの援助・借入れ	6.8	20.0
3. 地震保険・共済制度の活用	22.6	35.0
4. 国・県の公的資金の活用	24.8	45.0
5. 利子の公的負担制度の活用	18.0	23.3
6. 金融機関からの融資	48.1	51.7
7. その他	1.5	5.0
無回答	3.0	-
	(N = 133)	(N = 60)

問24 (ふたたび全員がお答えください)

ご利用になった、もしくはご利用を計画している復興支援に関する制度を具体的に教えてください。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 国の被災者生活再建支援制度	13.6	30.5
2. 県の被災者生活再建支援制度	18.0	54.8
3. 国の住宅応急修理制度	11.5	16.4
4. 県の住宅応急修理制度	12.4	29.4
5. 被災住宅復興資金の融資制度	4.8	5.6
6. 住宅金融公庫による災害住宅復興融資	5.1	6.2
7. 住宅再建資金の借入金利息に対する利子補給制度	6.0	13.6
8. 災害援護資金の融資制度	2.5	2.8
9. 中小企業向け災害復旧資金の融資制度	3.1	1.1
10. 農林業施設への復旧支援制度	5.0	5.1
11. その他	4.3	1.1
12. 覚えていない・わからない	32.7	16.4
無回答	28.7	11.9
	(N = 645)	(N = 177)

問25 次に、今回の地震のときに行われた国や県のさまざまな支援策に対するご意見やご要望があれば、お書きください。ご記入の際には、支援制度の種類ごとに、例を参考にお書きください。

(1) 生活再建・住宅再建に関する支援制度について

(例：対象となる条件、支援内容、手続きなど)

(2) 商工業・農林業等に関する支援制度について

(例：対象となる条件、支援内容、手続きなど)

(3) その他

問26 今回の地震災害では、各地から義援金が寄せられ、全壊世帯、大規模半壊世帯、半壊世帯など、自宅の被害程度に応じて配分されました。あなたの家では、義援金を受け取りましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 受け取った	96.1	98.3
2. 受け取っていない	2.9	0.6
3. 覚えていない・わからない	0.9	1.1
	(N = 645)	(N = 177)

問27 (問26で「1」と答えた人にお伺いします)

では、その受け取った義援金は、お宅にとってどのくらいの助けになりましたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 非常に助けになった	15.0	40.8
2. かなり助けになった	25.6	39.1
3. あまり助けにならなかった	43.7	18.4
4. まったく助けにならなかった	15.2	1.7
無回答	0.5	-
	(N = 620)	(N = 174)

問28 (ふたたび全員がお答えください)

あなたは、今回の地震による義援金の配分方法は、適切だったと思いますか。それとも、不適切だったと思いますか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 非常に適切だったと思う	2.8	9.6
2. だいたい適切だったと思う	40.3	57.6
3. あまり適切ではなかったと思う	40.8	24.3
4. まったく適切ではなかったと思う	14.7	7.9
無回答	1.4	0.6
	(N = 645)	(N = 177)

問29 (問28で「3」あるいは「4」と答えた人にお伺いします)

では、どのような配分方法であれば良かったと思いますか。ご意見がありましたらお書きください。

問30 最後に、今回の地震について、行政・公共機関・報道機関に対して意見や希望がありましたらお書きください。

最後に、あなたご自身のことをお尋ねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 男性	67.9	71.8
2. 女性	32.1	28.2
	(N = 645)	(N = 177)

F2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 20 歳代	2.0	0.6
2. 30 歳代	8.2	6.2
3. 40 歳代	17.7	15.3
4. 50 歳代	36.6	41.2
5. 60 歳代	23.7	23.7
6. 70 歳代以上	11.8	13.0
	(N = 645)	(N = 177)

F3 地震の前、あなたの世帯の主たる収入源となっていた方の職業は次のどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 自営業者	16.4	11.3
2. 専門的・技術的職業	17.8	16.4
3. 事務従業者	7.8	10.2
4. 販売従業者	3.1	3.4
5. 職人・熟練作業員	7.3	9.0
6. 生産工程従業者	12.6	16.9
7. サービス的職業	8.1	4.5
8. 経営・管理的職業	3.6	5.1
9. 農・林・漁業従業者	7.1	13.0
10. 主婦 (パート・アルバイト)	1.7	1.7
11. 専業主婦	1.2	-
12. 学生	-	-
13. その他	1.1	-
14. 無職	12.2	7.9
無回答	-	0.6
	(N = 645)	(N = 177)

F4 お宅はあなた自身も含めてご家族は何人ですか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 1人	1.6	0.6
2. 2人	15.0	14.7
3. 3人	21.4	15.3
4. 4人	20.9	24.3
5. 5人以上	41.1	45.2
	(N = 645)	(N = 177)

F5 お宅には、あなた自身も含めて、災害時に避難するときなど、援助あるいは支援が必要な方はいますか。
あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 乳幼児	9.0	7.9
2. 幼稚園・保育園の子供	9.8	8.5
3. 小学生の子供	12.6	11.9
4. 中学生・高校生の子供	6.8	10.7
5. 一人での避難が困難な 65 歳以上の高齢の方	20.5	26.6
6. 布団やベッドの上での生活が中心の方	4.5	2.8
7. 介助がないと外出できない方	7.0	7.9
8. 日常生活はほぼひとりで行えるが、足腰が弱っている方	18.1	14.7
9. その他	1.2	0.6
10. あてはまる人はいない	43.3	45.8
	(N = 645)	(N = 177)

F6 地震当時、あなたのお宅では、車を何台お持ちでしたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. なかった	2.9	1.7
2. 1台	17.2	15.3
3. 2台	36.3	32.2
4. 3台	25.6	30.5
5. 4台以上	17.8	20.3
無回答	0.2	-
	(N = 645)	(N = 177)

F7 あなたの地震当時、あなたのお住まいは次のうちどれでしたか。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 持ち家 (木造)	95.3	98.3
2. 借家 (木造)	2.0	0.6
3. マンション (所有)	-	-
4. マンション (賃貸)	0.2	-
5. アパート	1.1	-
6. 公営住宅	1.2	1.1
無回答	0.2	-
	(N = 645)	(N = 177)

F8 (F7で「1」と答えた人にお伺いします)

地震前の、あなたのお住まいは、どのくらい古い建物でしたか。あてはまるものを1つ選んでつけてください。

	小千谷市 (%)	川口町 (%)
1. 昭和 56 年以前に建築	52.8	56.3
2. 昭和 57 年以降に建築	43.9	42.0
3. 築年は不明	3.1	1.7
無回答	0.2	-
	(N = 615)	(N = 174)

ご協力ありがとうございました。

皆さまのご回答を、今後の防災、災害対策に役立てていきたいと存じます。

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査

(山古志支庁版 個人票)

内閣府 (防災担当)

調査 依頼日	/	回収 予定日	/	SEQ					
-----------	---	-----------	---	-----	--	--	--	--	--

【 記入に際してのお願い 】

ご記入は鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。

回答の方法は、あてはまる番号を選んで で囲んでいただくものと、具体的な内容を書いていただくものがあります。特に「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。質問によっては、次に進む質問箇所が異なる場合があります。問番号横の()内の指示に従ってご回答ください。

ご回答につきましては、7月16日～27日の間に、調査員がお受け取りに伺いますので、その際に調査票をお渡しく下さい。

ご不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

調査主体： 内閣府 (防災担当)

調査実施： 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

アンケート調査事務局 担当:中島・佐藤

フリーダイヤル 0120-223-898

受付時間は9:30～17:30となっております(土日除く)

昨年の新潟県中越地震についてお伺いしていきます。まず、地震が起こった当日のことをお尋ねします。

問1 最初の大きな地震が、10月23日18時頃に起こった時、あなたはどこにいましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 自宅	66.1
2. 山古志地区内の自宅以外の建物の中	7.5
3. 山古志地区内の屋外にいた	3.0
4. 山古志地区内を乗り物で移動中だった	2.5
5. その他	0.3
6. 地震当時、山古志地区にいなかった	20.6
	(N=968)

問1で「6」と答えた方は、問22へ進んでください。

問2 揺れている最中に、あなたはどのような行動をとりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. その場でじっとして様子を見ていた	37.6
2. 全く動けなかった	25.4
3. 机やテーブルの下にもぐった	3.4
4. ドアや窓を開けた	6.1
5. 家具に挟まれたり、下敷きになったりした	2.3
6. 頑丈なものにつかまって身をささえた	18.3
7. 家の中の物が飛んできて、体に当たった	9.6
8. 屋外に飛び出した	43.6
9. 老人や子供を守ろうとした	18.5
10. 屋外にいたので建物の中に入ろうとした	1.2
11. その他	6.6
12. 覚えていない	0.4
	(N=769)

問3 揺れがおさまった後、あなたは、どのような行動をとりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください

	(%)
1. 懐中電灯を探した	43.2
2. ラジオ・携帯ラジオをつけた	9.5
3. テレビ・携帯テレビをつけた	1.0
4. 車のラジオをつけた	24.7
5. 車のテレビをつけた	1.3
6. 屋外に出て様子を見た	60.5
7. 家の中の後片付けをした	1.8
8. 家の田畑や倉庫・店舗などの様子を見に行った	3.4
9. 近くの親族や知人の様子を見に行った	28.2
10. 家の外にいた家族と連絡をとろうとした	20.5
11. 家に戻った	9.6
12. 家にいた家族と連絡をとろうとした	14.4
13. 役場や警察・消防に連絡をとろうとした	5.7
14. その他	8.3
15. あてはまるものはない・覚えていない	2.3
	(N=769)

問4 最初の大きな地震が起こった日（10月23日）の夜、あなたが見聞きした集落の様子について、あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 多くの人が外に出ていた	83.1
2. 多くの家が壊れていた	22.1
3. 大けがをした人を見かけた	8.1
4. がけ崩れや、土砂崩れがあった	57.1
5. 近隣の集落へ通じる道路がほとんどすべて通れなかった	55.8
6. 集落の外と、電話で連絡がとれなかった	73.6
7. その他	4.9
無回答	0.1
	(N=769)

問5 地震が起こった日の夜、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 家が壊れて家にいられなかったこと	26.3
2. 余震が怖くて家に入れなかったこと	65.0
3. 適当な避難場所がなかったこと	19.4
4. 電気が止まったこと	76.1
5. ガス・水道が止まった	49.5
6. 電話が通じなかった	76.5
7. 携帯電話が通じなかった	59.7
8. 携帯電話の電池切れ	9.6
9. 家族・知人の安否が分からなかった	53.7
10. テレビを見ることができなかった	40.6
11. ラジオを聴くことができなかった	16.8
12. 食事	42.0
13. 交通機関がマヒした	33.9
14. 暖房	26.1
15. 寝具	15.5
16. トイレ	34.7
17. 道路が壊れて、動けなかった	39.7
18. その他	4.7
19. 何も困ったことはなかった	-
	(N=769)

問6 最初の大きな地震が起こった日（10月23日）の夜、あなたは、近所の人を崩れた家から助けたり、避難の手伝いをしたりしましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. していない	38.6
2. 近所の人を崩れた家から助け出した	10.1
3. ひとりでは避難の難しい近所の人と一緒に避難した	36.9
4. 水や食料などを分けた	33.7
5. 家に泊めたり休ませたりした	2.6
6. その他	9.1
無回答	0.7
	(N=769)

問7 最初の大きな地震が起こった日（10月23日）の夜、あなたやあなたの家族は、近所の人から手助けをうけましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 何の手助けもされなかった	42.3
2. 崩れた家から自分が助け出された	1.0
3. 崩れた家から家族が助け出された	2.1
4. 一緒に避難するなど、自分の避難を助けてもらった	15.6
5. 一緒に避難するなど、家族の避難を助けてもらった	21.8
6. 水や食料などを分けてもらった	35.8
7. 家に泊めてもらったり休ませてもらったりした	2.1
8. その他	7.7
無回答	2.2
	(N=769)

問8 地震が起こった日の夜、あなたが知りたかった情報は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 地震の規模や発生場所	70.6
2. 震度	43.6
3. 余震の今後の見通し	54.7
4. 地震の全体の被害	57.6
5. 家族・知人の安否	67.5
6. 火災の状況	11.2
7. 国や県や村役場がどんな対応をしているか	39.0
8. 水や食料	32.9
9. どの病院にいけばよいか	3.8
10. 具体的にどう行動すればよいか	27.6
11. 避難場所	27.4
12. 電話・携帯電話のつながり具合	42.3
13. その他	1.3
14. 知りたい情報はなかった	2.0
無回答	0.3
	(N=769)

問9 地震が起こった日の夜、あなたはその知りたい情報を主に何から得ましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. カーラジオ	45.4
2. カーナビのテレビ	2.7
3. 家のテレビ	0.5
4. 携帯ラジオ	25.7
5. 近所の人たちとの会話	52.7
6. その他	4.6
7. 知りたい情報はなかった	3.4
無回答	2.9
	(N=769)

問10 地震が起こった日の夜、あなたが知りたかった情報はおおむね得ることができましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1.十分に得ることが出来た	1.8
2.だいたい得ることが出来た	8.1
3.あまり得られなかった	25.6
4.ほとんど得られなかった	64.4
無回答	0.1
	(N=769)

問11 地震が起こった夜に、あなたが特に困ったことがあれば、ご記入ください。

次に、地震が起こった次の日（24日）から、集落を出て村外へ避難するまでのことをお尋ねしていきます。

問12 地震が起こった次の日から、集落を出て避難するまでの間、あなたはどのように過ごしましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 夜は、主に屋外で集落の人達と過ごした	59.7
2. 自宅や田畑などの被害を調べたり、修理したりした	12.0
3. 集落の中の家や道路などの被害を調べた	23.7
4. 集落の周囲の道路などの被害を調べた	18.1
5. 昼間、集落の人達と安全な場所にとどまり、あまり出歩かなかった	48.4
6. 他の集落へ連絡などに行った	3.9
7. 地震の夜にいた集落から、自分の集落へ戻った	3.9
8. けが人やお年寄りの世話をしていた	10.0
9. けがをされていて動けなかった	1.7
10. あてはまるものはない	9.4
	(N=769)

問13 地震の翌日以降、集落を出て避難するまで、あなたが不安だったことはありますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 余震で、家が崩れそうで不安だった	52.7
2. 余震で、がけ崩れが起こりそうで不安だった	40.6
3. けが人や病人のことが不安だった	15.7
4. 飲料水が無くなりそうで不安だった	26.7
5. 食料が無くなりそうで不安だった	23.8
6. 他の集落の様子がわからず不安だった	48.6
7. 自分の集落の様子が、外へ伝わっていないことが不安だった	54.1
8. その他	7.9
無回答	0.8
	(N=769)

問14 地震の後、集落を出て避難するまでの間、あなたは、他の集落の様子を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. よく知っていた	1.7
2. かなり知っていた	5.7
3. あまり知らなかった	38.4
4. 全く知らなかった	54.1
無回答	0.1
	(N=769)

次に、山古志村から離れた時の状況についてお尋ねします。

問15 集落から全員で避難することを、あなたは最初に誰から聞きましたか。あてはまるものを1つ選んでつけてください。

	(%)
1. 家族	6.2
2. 近所の人	15.0
3. 役場の人	19.0
4. 消防団員の人	2.9
5. 区長	43.3
6. 自衛隊	7.0
7. 警察官	0.3
8. その他	6.4
	(N=769)

問16 あなたは、集落から全員で避難することをいつごろ聞きましたか。あてはまるものを1つ選んでつけてください。

	(%)
1. 避難する直前	33.6
2. 避難した時刻の数時間前	25.7
3. 避難した時刻の半日くらい前	20.4
4. 避難した日の前日	19.6
無回答	0.7
	(N=769)

問17 あなたは、それを聞いてどのように思いましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 避難すると聞いて、ほっとした	46.8
2. 全員で避難することは、意外だった	32.2
3. 村外へ避難することは、意外だった	39.0
4. 本当かどうか半信半疑だった	26.1
5. その他	3.9
6. あてはまるものはない	2.9
	(N=769)

問18 集落から離れる際に、あなたはどれくらいの期間でふたたび家に戻れると思っていましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 2、3日後	25.4
2. 1週間くらい	18.5
3. 2、3週間くらい	5.1
4. 1ヶ月くらい	6.2
5. 数ヶ月以上	6.8
6. いつ戻れるかは考えなかった	34.1
7. 覚えていない	3.9
無回答	0.1
(N=769)	

問19 集落から離れる際に、あなたが気になったことをお答えください。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 自宅の様子が分からなくなる	76.9
2. 泥棒などに入られる	31.1
3. 作物や鯉・牛などに被害が出る	23.1
4. 田畑や養鯉池・牛舎などの手入れができなくなる	20.4
5. 勤め先のこと	19.5
6. 子供の学校のこと	12.4
7. その他	7.9
無回答	0.9
(N=769)	

問20 集落から離れる際に、困ったことはありましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 寒い所で長い間待たされた	15.2
2. いつ避難できるかすぐにわからなかった	16.3
3. どこへ避難するのかすぐにわからなかった	55.4
4. 避難先の様子がよくわからなかった	58.5
5. 何を持っていったら良いかわからなかった	43.0
無回答	3.1
(N=769)	

問21 地震が起こった次の日(24日)から、山古志村を離れるまでの間に、あなたが特に困ったことがあれば、ご記入ください。

ここからは、山古志村を離れた後の避難生活の状況についてお尋ねします。

問22 では、あなたは、地震が起こった日から現在まで、どのようなところで生活しましたか。現在生活しているところもふくめて、次の中からあてはまるものをいくつでも選び、生活された順番に記入欄にご記入ください。(例：3 4 8 9)

記入欄

	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	10.0
2. 地震後に移転した自宅	0.4
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	37.4
4. 車の中	37.3
5. 市・町内の親戚・知人の家	2.7
6. 市・町外の親戚・知人の家	1.5
7. ホテルや旅館	0.3
8. 自衛隊のテント	-
9. 仮設住宅	-
10. 市営住宅・町営住宅	-
11. 民間賃貸住宅	0.1
12. その他	10.2
無回答	-
	(N=968)

記入欄	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.7
2. 地震後に移転した自宅	0.2
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	45.0
4. 車の中	6.5
5. 市・町内の親戚・知人の家	5.0
6. 市・町外の親戚・知人の家	4.1
7. ホテルや旅館	0.2
8. 自衛隊のテント	0.3
9. 仮設住宅	33.5
10. 市営住宅・町営住宅	0.4
11. 民間賃貸住宅	0.8
12. その他	3.2
無回答	-
	(N=968)

記入欄	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	0.1
2. 地震後に移転した自宅	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	11.5
4. 車の中	0.3
5. 市・町内の親戚・知人の家	2.0
6. 市・町外の親戚・知人の家	2.0
7. ホテルや旅館	-
8. 自衛隊のテント	-
9. 仮設住宅	48.2
10. 市営住宅・町営住宅	-
11. 民間賃貸住宅	0.8
12. その他	1.9
無回答	33.3
	(N=968)

記入欄

	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	-
2. 地震後に移転した自宅	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	1.5
4. 車の中	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	0.6
6. 市・町外の親戚・知人の家	0.6
7. ホテルや旅館	0.3
8. 自衛隊のテント	-
9. 仮設住宅	14.9
10. 市営住宅・町営住宅	0.1
11. 民間賃貸住宅	0.3
12. その他	0.2
無回答	81.4
	(N=968)

記入欄

	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	-
2. 地震後に移転した自宅	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	0.2
4. 車の中	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	0.3
6. 市・町外の親戚・知人の家	0.1
7. ホテルや旅館	-
8. 自衛隊のテント	-
9. 仮設住宅	3.1
10. 市営住宅・町営住宅	-
11. 民間賃貸住宅	0.1
12. その他	-
無回答	96.2
	(N=968)

記入欄

	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	-
2. 地震後に移転した自宅	-
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	-
4. 車の中	-
5. 市・町内の親戚・知人の家	-
6. 市・町外の親戚・知人の家	-
7. ホテルや旅館	-
8. 自衛隊のテント	-
9. 仮設住宅	0.6
10. 市営住宅・町営住宅	-
11. 民間賃貸住宅	-
12. その他	-
無回答	99.4
	(N=968)

(記入欄 以降は記入なし)

記入欄統合 (複数回答)

	(%)
1. 地震前から住んでいた自宅	10.7
2. 地震後に移転した自宅	0.6
3. 市・町が指定した避難所の建物の中	92.7
4. 車の中	44.1
5. 市・町内の親戚・知人の家	10.2
6. 市・町外の親戚・知人の家	8.3
7. ホテルや旅館	0.8
8. 自衛隊のテント	0.3
9. 仮設住宅	100.0
10. 市営住宅・町営住宅	0.5
11. 民間賃貸住宅	2.2
12. その他	15.0
	(N=968)

問23 (問22で「3」と答えた人にお伺いします)

避難所に避難しているとき不便や不満を感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. プライバシー	69.9
2. 人間関係	42.0
3. 騒がしさ	42.8
4. 照明	12.9
5. 風呂	49.1
6. 洗濯	44.9
7. トイレが遠い、使いにくい	26.0
8. トイレが汚い	16.6
9. 寝具	33.2
10. 食事や飲料水の量が不足	3.8
11. 食事や飲料水の内容(温かさ、固さなど)	10.3
12. 寒さ	17.2
13. 空気が悪い	41.2
14. 風邪・インフルエンザ	43.7
15. 電話を使いにくい	15.7
16. マスコミの情報が入りにくい	7.1
17. 行政の情報が入りにくい	25.0
18. マスコミの取材	22.3
19. 交通の便	9.9
20. なんとなく落ち着かなかった	57.6
21. その他	4.0
22. 特に不便はなかった	3.5
	(N=897)

問24 (問22で「3」と答えた人にお伺いします)

あなたは次のようなことを避難所での生活で体験しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. トイレが心配で、水を飲むのを控えた	8.8
2. 常用していた薬が無くなり困った	9.4
3. 避難生活で足腰が弱った	17.9
4. 避難所で、段差や階段があって動くのに困った	3.5
5. メガネ、補聴器、杖などが使えず困った	1.4
6. 避難生活で体調を崩して医者にかかった	32.3
7. ほかの人より行動が遅く、気がねした	8.5
8. その他	4.1
9. あてはまるものがない	46.3
	(N=897)

問25 (問22で「9」と答えた人にお伺いします)

あなたは仮設住宅についてどう感じていますか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 狭い	69.3
2. 買い物が不便	12.2
3. 職場が遠い	18.3
4. 防音が悪い	44.4
5. ひさしが短い	25.0
6. 結露がひどい	53.3
7. 自宅に泥棒が入るかもしれず心配だ	10.5
8. 雪下ろしが難しい	7.5
9. 近所がまとまって居住できるのでありがたい	49.8
10. 住宅があるだけでありがたい	63.2
11. 家が壊れる心配がないので、安心して生活できるようになった	18.7
12. その他	6.7
	(N=968)

問26 (問22で「9」と答えた人にお伺いします)

次に、仮設住宅について、あなたの考えにあてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 同じ集落の人は、1つの仮設住宅に集まっていた良かった	83.7
2. 集落ごとに、仮設住宅を分けた方が良い	16.7
3. 集落のつきあいが保たれて良かった	51.2
4. 植物を植えられる庭があって良かった	16.9
5. 近くに農園ができて良かった	22.7
6. お店を営業している仮設住宅があって良かった	12.0
7. お店を営業している車があって良かった	13.8
8. その他	1.4
無回答	3.8
	(N=968)

問27 (ふたたび全員がお答えください)

地震が起こった後、避難生活をしてから、自宅に戻ることや、仮設住宅への入居、公営住宅・民間賃貸住宅などへ入居することにより、ある程度落ちついた生活ができるようになるまでの間に、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 余震が怖くて家に入れなかったこと	28.8
2. 電気が止まったこと	35.2
3. ガス・水道が止まったこと	37.1
4. 食事	16.5
5. 交通機関がマヒしたこと	32.0
6. 暖房	10.8
7. 落ち着いて避難生活を送る場所がなかったこと	21.9
8. 寝具	14.9
9. トイレ	19.0
10. 留守宅への泥棒が心配だった	18.6
11. 入浴	30.7
12. 体調	31.1
13. ゴミや廃棄物の処理	8.8
14. ペット	16.2
15. 携帯電話の電池切れ	9.6
16. ガソリン	6.9
17. その他	3.3
18. 何も困ったことはなかった	8.2
無回答	0.2
	(N=968)

問28 避難所や仮設住宅での暮らしのなかで、あなた自身が特に困ったことがあれば、ご記入ください。

問29 避難所や仮設住宅の生活で、困ったり苦労したりしていた方を知っていますか。体の不自由な方など、そうした方をご存知でしたら、どのようなことに苦労していたかご記入ください。

問30 あなたは、地震後、次のようなことを感じたことはありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 地震で、家族に、死者やけが人が出たことが辛い	5.3
2. 自分や家族の健康が心配	45.4
3. 何もすることがなく生活にはりがない	21.2
4. 慣れない土地で、なじめない	9.2
5. 仮住まいを出て、早く落ち着きたい	55.5
6. 自宅の被害の様子がよく分からず不安	19.4
7. 自宅に被害があって辛い	50.6
8. 自宅に行けず雪を下ろせないので、家が壊れないか不安だった	24.1
9. 世帯の収入源となる仕事に影響があって心配	25.9
10. 自分達だけが、どうして大変な目にあわなくてはいけないのだろう	17.8
11. 被災者として特別扱いされている気がする	19.5
12. 以前よりも、集落の人付き合いが減った気がする	11.9
13. その他	3.9
14. あてはまるものはない	4.0
	(N=968)

あなたの、今の生活やお考えについてお尋ねします。

問31 あなたが、仮設住宅を出た後に暮らそうと思っている場所はどこですか。あなたの考えに一番近いもの1つを選んでつけてください。

	(%)
1. 地震前に住んでいた場所	60.4
2. 同じ集落の中や近くなど、地震前に住んでいた場所に近い場所	9.7
3. 地震前に住んでいた集落とは違う、山古志の別の集落	1.4
4. 山古志以外の場所	13.6
5. わからない	14.8
	(N=968)

問32 (問31で「1」～「3」と答えた人にお伺いします)

あなたが、山古志に帰りたい大きな理由は何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 山古志での生活が気に入っているから	53.4
2. 自分が暮らしてきた土地なので愛着があるから	67.2
3. 先祖代々受け継いできた土地や家、お墓があるから	59.7
4. 知人・友人がいるから	28.0
5. ほかの住民が帰ると言っているから	7.2
6. 地域の人達と一緒に復興していきたいと思うから	41.7
7. 家族が山古志を離れたがらないから	19.8
8. 山古志に仕事があるから	18.3
9. ほかの場所へ移るあてがないから	29.6
10. 見ず知らずの土地で新しく人間関係を築くのは大変だから	17.9
11. 見ず知らずの土地で生活環境が大きく変わることによる不安があるから	16.5
12. 震災の被害が比較的少なく、復興は可能だと思うから	17.6
13. 帰ってやりたいことがあるから	13.1
14. その他	3.3
15. あてはまるものはない	0.1
	(N=693)

問33 (問31で「1」～「3」と答えた人にお伺いします)

あなたは、集落や山古志の復興がどの程度まで進めば、帰って生活したいと思えますか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 集落の住居の再建	61.6
2. 地盤強化・土砂崩壊場所の復旧などによる、集落の安全性の確保	60.8
3. 集落の水道・電気・電話などライフラインの復旧	83.8
4. 集落の農地・畜産場・養鯉池などの復旧	37.2
5. 山古志支庁内の各集落を結ぶ道路の復旧	62.9
6. 山古志支庁外から山古志支庁内へ通じる道路の復旧	47.8
7. 山古志の学校・保育園など教育施設の再開	44.2
8. 山古志の病院など医療・福祉施設の再開	51.1
9. 集落内の新たな就労の場の確保	11.7
10. 山古志での新たな就労の場の確保	12.3
11. 路線バスの復旧	32.3
12. その他	1.9
無回答	0.4
	(N=693)

問34 (問31で「1」～「3」と答えた人にお伺いします)

あなたは、どのように山古志へ戻るのがよいとお考えですか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選びをつけてください

	(%)
1. 旧山古志村全体でまとまって一斉に戻るのがよい	14.4
2. 旧山古志村全体では無理でも、集落毎にはまとまって戻るのがよい	44.4
3. 戻れる人は世帯単位であっても戻ればよい	33.6
4. わからない	7.5
	(N=693)

今後の山古志についてお尋ねします。

問35 一部の集落では、集落移転が話題となっています。あなたは、ご自分の集落の移転について、どのように考えていますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 自分の集落は、集落移転する必要はない	52.0
2. もとの集落から近い場所であれば、集落移転も仕方ない	11.9
3. 山古志の中の場所であれば、集団移転も仕方ない	3.3
4. 山古志の外への集団移転も仕方ない	11.8
5. わからない・なんともいえない	21.1
	(N=968)

問36 あなたは今後の山古志の農業について、どのような形態が良いと思いますか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 複数の農家が集まって田畑を前より大きくして、 機材も共同で購入するなど、経営を大規模化するのが良い	16.6
2. それぞれの農家が以前のように小さい田畑を所有するが、 機材は共同で買ったり、作業はお互い手伝ったりするのが良い	34.7
3. 田畑の所有も、機材の購入も、それぞれの農家が行うのが良い	33.8
無回答	14.9
	(N=968)

問37 あなたが夢みる、山古志の復興のためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 山古志の歴史・文化・伝統の保存・維持	49.7
2. 養鯉業の復活・維持	35.0
3. 闘牛の復活・維持	35.2
4. 震災前と同様の棚田の復元	36.9
5. 美しい景観を生かした観光振興	37.8
6. 山古志の自然を生かした体験型観光拠点づくり	31.4
7. 被災の痕跡を活用した観光拠点づくり	14.9
8. 新たな特産品の開発	16.3
9. 新規産業の創造・誘致	15.0
10. 山古志の外の人達向けの宣伝・PR 活動	18.4
11. 高齢化対策、福祉・医療施設の充実	52.4
12. 少子化対策、育児・教育施設の充実	32.4
13. その他	2.7
無回答	5.9
	(N=968)

問38 山古志の復興について、ご意見があればご自由にお書きください。

--

最後に、あなたご自身のことをお尋ねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 男性	51.9
2. 女性	48.1
	(N=968)

F2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 20～29 歳	9.3
2. 30～39 歳	11.3
3. 40～49 歳	12.1
4. 50～59 歳	26.0
5. 60～69 歳	25.1
6. 70 歳以上	16.2
	(N=968)

F3 あなたの地震前の職業はどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 自営業者	14.2
2. 専門的・技術的職業	9.2
3. 事務従業者	6.1
4. 販売従業者	1.3
5. 職人・熟練作業員	5.6
6. 生産工程従業者	7.5
7. サービス的職業	5.7
8. 経営・管理的職業	0.9
9. 農・林・漁業従業者	11.7
10. 主婦（パート・アルバイト）	9.2
11. 専業主婦	11.8
12. 学生	1.5
13. その他	0.3
14. 無職	14.8
無回答	0.2
	(N=968)

F4 あなたは、地震の前に、携帯電話を持っていたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 持っていた	51.5
2. 持っていなかった	48.5
	(N=968)

ご協力ありがとうございました。

皆さまのご回答を、今後の防災、災害対策に役立てていきたいと存じます。

平成 16 年新潟県中越地震に関する住民アンケート調査

(山古志支庁版 世帯票)

内閣府 (防災担当)

調査 依頼日	<input type="text"/>	回収 予定日	<input type="text"/>	SEQ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-----------	----------------------	-----------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【 記入に際してのお願い 】

ご記入は鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。
回答の方法は、あてはまる番号を選んで で囲んでいただくものと、具体的な内容を書いていただくものがあります。特に「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。質問によっては、次に進む質問箇所が異なる場合があります。問番号横の()内の指示に従ってご回答ください。

ご回答につきましては、7月16日～27日の間に、調査員がお受け取りに伺いますので、その際に調査票をお渡しく下さい。

ご不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

調査主体： 内閣府 (防災担当)

調査実施： 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

アンケート調査事務局 担当:中島・佐藤

フリーダイヤル 0120-223-898

受付時間は9:30～17:30となっております(土日除く)

はじめに、地震が起こった日のことをお尋ねします。

問1 10月23日午後6時頃の大きな地震によって、あなたのお住まいはどんな被害がありましたか。まず自宅の被害について、行政の被害認定の結果を次の中から1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 全壊	40.1
2. 大規模半壊	11.1
3. 半壊	31.3
4. 一部損壊	16.5
5. 被害なし	-
6. 調査を受けていない	0.4
7. 調査結果を覚えていない・分からない	0.6
	(N=504)

問2 (問1で「1」～「5」と答えた人にお伺いします)

被害認定の結果に納得できず、認定のやり直しを依頼しましたか。あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	(%)
1. 結果に納得し、やり直しは依頼しなかった	62.3
2. 結果に納得しなかったが、やり直しは依頼しなかった	23.8
3. 結果に納得できず、やり直しを依頼し、結果が変わった	6.2
4. 結果に納得できず、やり直しを依頼したが、結果は変わらなかった	5.2
5. その他	2.2
無回答	0.2
	(N=499)

問3 では、自宅の被害のほか、次のような被害はありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 家が土砂崩れに巻き込まれた	5.6
2. 家の内壁に多くの亀裂が入ったり、落ちたりした	83.1
3. 屋根の瓦がずれたり、落ちたりした	19.0
4. たんす・食器棚などが倒れた	83.9
5. ブロック塀が倒れたり、ひびが入ったりした	17.1
6. 窓ガラスにひびが入ったり割れたりした	68.5
7. 食器棚から食器が落ちて壊れた	85.1
8. トイレ、風呂などの設備の具合が悪くなった	77.6
9. 自家用車が壊れて動かなくなった	6.0
10. その他	15.1
11. 特に被害はなかった	0.6
無回答	0.2
	(N=504)

問4 お宅では、宅地あるいはお宅の地盤に被害がありましたか。あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	(%)
1. 宅地(地盤)に被害があった	79.0
2. 宅地(地盤)の被害はなかった	18.7
3. その他	1.2
無回答	1.2
	(N=504)

問5 10月23日の午後6時頃の大きな地震が起こったとき、お宅では何か火を使っていましたか。

	(%)
1. 火を使っていた	34.9
2. 火を使っていなかった	64.9
無回答	0.2
	(N=504)

問6 (問5で「1」と答えた人にお伺いします)

あなた、あるいはあなたのご家族は、その火の始末をしましたか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 大揺れがくる前に火を消した	13.6
2. 大揺れの最中に火を消した	40.9
3. 揺れが終わってから火を消した	5.7
4. 自動的に消えた	47.7
5. 火は消さなかった	2.8
6. その他	1.1
無回答	0.6
	(N=176)

次に、地震が起こった日から、その後の避難生活までのことをお尋ねします。

問7 お宅では、今回の一連の地震によって、けがをした家族がいましたか。あてはまるものを1つ選んでつけてください。

	(%)
1. けがをした者がいた	14.3
2. けがをした者はいない	85.5
無回答	0.2
	(N=504)

問8 (問7で「1」と答えた人にお伺いします)

そのけがはどのようなときになさったのですか。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 最初の地震でけがをした	87.5
2. 後の余震でけがをした	15.3
	(N=72)

問9 (問7で「1」と答えた人にお伺いします)

そのけがについて、あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 建物の倒壊によってけがをした	16.7
2. 家具等の転倒によってけがをした	30.6
3. ストープや火事などによってやけどをした	1.4
4. 瓦や看板などの落下物によってけがをした	-
5. 壊れたガラスや食器によってけがをした	37.5
6. 逃げようとして物にぶつかったりころんだりした	25.0
7. その他	11.1
	(N=72)

問10 山古志から集落全員で避難する際に、お宅では、どのようなものを持って行きましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

また、実際には持って行けなかった物で、後になって持って行けばよかったと思った物があれば、いくつでも選んで をつけてください。

(N=504)	持って行ったもの	持って行けばよかったもの
現金	78.6	12.3
クレジットカード	27.8	8.1
貯金通帳やキャッシュカード	59.5	22.4
重要書類(不動産の登記証など)	33.3	24.4
印鑑	59.1	20.8
免許証	65.3	7.1
位牌	20.4	17.5
写真・アルバム	6.2	10.9
下着類	47.8	20.8
防寒具	18.7	18.3
携帯電話	42.1	4.6
一般的な常備薬	12.1	14.9
特殊な常備薬(血圧の薬など)	20.0	10.3
その他、教訓になるような持参物があれば、教えてください。	4.0	4.0
無回答	11.5	46.8

問11 地震が起こった当日の夜から今日まで、あなたの家族が過ごしていた場所について、あてはまるものをいくつか選んでつけてください。

	(%)
1. 家族全員が、ずっと一緒に過ごしていた	61.1
2. 家族が別々に、違う場所に避難していた時期があった	32.3
3. 家族の一部を、介護施設に入所させた	5.8
4. 家族の一部を、被災地の外へ避難させた	7.7
5. その他	3.0
	(N=504)

問12 あなたのご家族のなかに、一人では生活できない高齢者や要介護者はいらっしゃいますか。

	(%)
1. いる	22.8
2. いない	76.8
無回答	0.4
	(N=504)

問13 (問12で「1」と答えた人にお伺いします)

地震の後に、あなたのご家庭では、次のようなことがありましたか。あてはまるものをいくつか選んでつけてください。

	(%)
1. 訪問看護を受けられない、あるいは受けにくくなった	11.3
2. デイケアやショートステイなどを利用できなくなった、あるいは利用しにくくなった	7.0
3. 自宅での介護ができなくなり、介護施設に入所させた	25.2
4. 自宅での介護ができなくなり、介護施設に入所させようとしたが入所できなかった	7.0
5. 自宅での介護に必要な特殊機器(人工透析や心臓疾患など)が壊れた	-
6. ライフラインの切断により、自宅での介護に必要な特殊機器(人工透析や心臓疾患など)が使えなくなった	-
7. 自宅での介護に必要な物資(薬や紙おむつなど)が不足した	16.5
8. 地震前から入所していた介護施設のサービスが悪化した	7.0
9. その他	13.9
無回答	27.0
	(N=115)

次に、あなたのご家庭の、今の暮らし向きや今後の見通しなどについてお尋ねします。

問14 あなたの世帯の今の状況にあてはまるものを、それぞれ1つ選んで をつけてください。

(1) 自宅の復旧・再建	(%)
1. だいたい復旧・再建した	3.6
2. まだ復旧・再建していないが、目処はたった	32.3
3. まだ復興しておらず、目処もたっていない	64.1
	(N=504)
(2) 主な働き手の仕事の再開について	(%)
1. だいたい再開した	44.6
2. まだ再開していないが、目処はたった	3.8
3. まだ再開しておらず、目処もたっていない	13.1
4. 主に年金で生活している	37.7
無回答	0.8
	(N=504)
(3) 家族の生活のリズム・落ち着きについて	(%)
1. だいたいリズム・落ち着きを取り戻した	46.2
2. まだリズム・落ち着きを取り戻していないが、目処はたった	26.8
3. まだリズム・落ち着きを取り戻しておらず、目処もたっていない	26.6
無回答	0.4
	(N=504)

問15 あなたのご家庭では、仮設住宅を出た後どこに住む予定ですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 山古志にある家を修理して住む予定	47.2
2. 山古志で以前に暮らしていた場所に、家を建てなおして住む予定	11.5
3. 山古志の新しい場所に、家を新築して住む予定	6.0
4. 山古志以外の場所に自宅(持家)を手に入れて、暮らす予定	7.9
5. 民間の借家に入る予定	0.4
6. 被災者公営住宅などに入る予定	3.6
7. 老人ホームなどに入る予定	-
8. その他	1.2
9. まだ予定はない	22.2
	(N=504)

問16 今回の地震の前に、あなたのお宅では、地震保険やJAの建更・全労済の自然災害共済など災害被害を補償する制度に加入していましたか。

	(%)
1. 加入していた	84.1
2. 加入していなかった	15.9
	(N=504)

問17 (問16で「2」と答えた人にお伺いします)

お宅でこれらの制度に加入していなかった理由はなぜですか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 大きな地震は起きないと思っていたから	60.0
2. 制度・仕組みを知らなかったから	13.8
3. 制度・仕組みがわかりにくかったから	8.8
4. 保険・共済に加入する金銭的余裕がなかったから	47.5
5. 持ち家ではなかったから	5.0
6. 自宅の耐震化をしていたから	3.8
7. その他	3.8
無回答	1.3
	(N=80)

問18 あなたは、家を再建する予定がありますか。あてはまるものを1つだけ選んで をつけてください。

	(%)
1. 再建する予定がある	38.9
2. すでに住宅を再建した	0.4
3. 住宅の応急修理を行った	6.7
4. 被害がなかったので、住宅を再建する必要がない	1.2
5. もう住宅を再建するつもりはない	38.9
6. 災害前は賃貸住宅にいたので住宅を建てる予定はない	0.6
7. その他	12.1
無回答	1.2
	(N=504)

問19 (問18で「1」あるいは「2」と答えた人にお伺いします)

お宅では、再建のためにどのような資金計画をお持ちですか、あるいはどのような資金で再建しましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 自己資金	48.0
2. 親戚からの援助・借入れ	12.6
3. 地震保険・共済制度の活用	63.6
4. 国・県の公的資金の活用	39.4
5. 利子の公的負担制度の活用	11.6
6. 金融機関からの融資	23.7
7. その他	5.1
無回答	1.5
	(N=198)

問20 (ふたたび全員がお答えください)

ご利用になった、もしくはご利用を計画している復興支援に関する制度を具体的に教えてください。あてはまるものをいくつでも選んでつけてください。

	(%)
1. 国の被災者生活再建支援制度	57.1
2. 県の被災者生活再建支援制度	53.2
3. 国の住宅応急修理制度	13.3
4. 県の住宅応急修理制度	12.9
5. 被災住宅復興資金の融資制度	8.9
6. 住宅金融公庫による災害住宅復興融資	6.7
7. 住宅再建資金の借入金利息に対する利子補給制度	6.9
8. 災害援護資金の融資制度	6.2
9. 中小企業向け災害復旧資金の融資制度	2.6
10. 農林業施設への復旧支援制度	13.1
11. その他	3.0
12. 覚えていない・わからない	27.0
	(N=504)

問21 次に、今回の地震のときに行われた国や県のさまざまな支援策に対するご意見やご要望があれば、お書きください。ご記入の際には、支援制度の種類ごとに、例を参考にお書きください。

(1) 生活再建・住宅再建に関する支援制度について

(例：対象となる条件、支援内容、手続きなど)

(2) 商工業・農林業等に関する支援制度について

(例：対象となる条件、支援内容、手続きなど)

(3) その他

問22 今回の地震災害では、各地から義援金が寄せられ、全壊世帯、大規模半壊世帯、半壊世帯など、自宅の被害程度に応じて配分されました。あなたの家では、義援金を受け取りましたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 受け取った	83.3
2. 受け取っていない	11.3
3. 覚えていない・わからない	5.4
	(N=504)

問23 (問22で「1」と答えた人にお伺いします)
では、その受け取った義援金は、お宅にとってどのくらいの助けになりましたか。

	(%)
1. 非常に助けになった	35.7
2. かなり助けになった	36.9
3. あまり助けにならなかった	23.1
4. まったく助けにならなかった	4.0
無回答	0.2
	(N=420)

問24 (ふたたび全員がお答えください)
あなたは、今回の地震による義援金の配分方法は、適切だったと思いますか。それとも、不適切だったと思いますか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 非常に適切だったと思う	9.9
2. だいたい適切だったと思う	53.2
3. あまり適切ではなかったと思う	23.6
4. まったく適切ではなかったと思う	9.3
無回答	4.0
	(N=504)

問25 (問24で「3」あるいは「4」と答えた人にお伺いします)
では、どのような配分方法であれば良かったと思いますか。ご意見がありましたらお書きください。

問26 最後に、今回の地震について、行政・公共機関・報道機関に対して意見や希望がありましたらお書きください。

最後に、あなたご自身のことをお尋ねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 男性	87.5
2. 女性	12.5
	(N=504)

F2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 20 歳代	0.4
2. 30 歳代	3.2
3. 40 歳代	9.1
4. 50 歳代	27.8
5. 60 歳代	26.0
6. 70 歳代以上	33.5
	(N=504)

F3 地震の前、あなたの世帯の主たる収入源となっていた方の職業は次のどれですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 自営業者	22.0
2. 専門的・技術的職業	8.1
3. 事務従業者	5.0
4. 販売従業者	1.0
5. 職人・熟練作業者	6.9
6. 生産工程従業者	5.2
7. サービス的職業	4.8
8. 経営・管理的職業	0.8
9. 農・林・漁業従業者	17.7
10. 主婦（パート・アルバイト）	1.4
11. 専業主婦	-
12. 学生	-
13. その他	-
14. 無職	26.8
無回答	0.4
	(N=504)

F4 お宅はあなた自身も含めてご家族は何人ですか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 1人	9.1
2. 2人	34.5
3. 3人	19.8
4. 4人	13.5
5. 5人以上	22.8
無回答	0.2
(N=504)	

F5 お宅には、あなた自身も含めて、災害時に避難するときなど、援助あるいは支援が必要な方はいますか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 乳幼児	3.2
2. 幼稚園・保育園の子供	3.8
3. 小学生の子供	6.7
4. 中学生・高校生の子供	3.4
5. 一人での避難が困難な65歳以上の高齢の方	17.7
6. 布団やベッドの上での生活が中心の方	3.8
7. 介助がないと外出できない方	6.9
8. 日常生活はほぼひとりで行えるが、足腰が弱っている方	18.5
9. その他	0.6
10. あてはまる人はいない	50.2
無回答	5.0
(N=504)	

F6 地震当時、あなたのお宅では、車を何台お持ちでしたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. なかった	13.3
2. 1台	26.6
3. 2台	25.8
4. 3台	19.6
5. 4台以上	14.5
無回答	0.2
(N=504)	

F7 あなたの地震当時、あなたのお住まいは次のうちどれでしたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 持ち家(木造)	99.0
2. 借家(木造)	0.6
3. マンション(所有)	-
4. マンション(賃貸)	-
5. アパート	-
6. 公営住宅	0.2
無回答	0.2
	(N=504)

F8 (F7で「1」と答えた人にお伺いします)

地震前の、あなたのお住まいは、どのくらい古い建物でしたか。あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

	(%)
1. 昭和56年以前に建築	64.9
2. 昭和57年以降に建築	21.8
3. 築年は不明	13.2
	(N=499)

F9 お宅では、今回の地震が発生する前に、次のような対策をしていましたか。あてはまるものをいくつでも選んで をつけてください。

	(%)
1. 家具を固定していた	3.6
2. 水などを備蓄していた	1.2
3. 非常持ち出し用品を用意していた	4.6
4. 地震保険に入っていた	4.0
5. JAの建物更生共済に入っていた	70.0
6. 全労災の自然災害共済に入っていた	2.0
7. 自宅の耐震補強や改修をしていた	1.8
8. 特に対策をしていなかった	26.2
9. その他	0.8
無回答	0.8
	(N=504)

F10 あなたの家で、地震時に持っていたものをお答えください。あてはまるものをいくつでも選んでをつけてください。

	(%)
1. 田畑	84.3
2. 養鯉池	45.6
3. 牛舎	4.2
4. 車	81.3
無回答	2.6
(N=504)	

F11 山古志で、お住まいだった集落をお答えください。あてはまるものを1つ選んでをつけてください。

	(%)
1. 種苧原	29.6
2. 虫亀	20.4
3. 竹沢	11.1
4. 間内平	4.4
5. 菖蒲	0.6
6. 山中	1.8
7. 油夫	4.0
8. 桂谷	5.4
9. 梶金	3.8
10. 木籠	3.0
11. 小松倉	3.4
12. 大久保	2.6
13. 池谷	5.2
14. 檜木	4.8
無回答	0.2
(N=504)	

ご協力ありがとうございました。

皆さまのご回答を、今後の防災、災害対策に役立てていきたいと存じます。